

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-194）」

2. 日時：令和4年11月24日（木） 10時00分～12時00分  
15時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長（設工認・耐震） 他19名

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループ 副長 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

三菱重工業株式会社 安全高度化対策推進部 主幹 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「本文、添付書類、補足説明項目への展開（外火山）（再処理施設）」

「竜巻防護対策設備の強度計算に関する構造及び評価について」

「外竜巻 00-01 の修正方針」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 令和4年11月18日

「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和4年11月22日  
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
0:00:10	本日のヒアリングは令和2年12月20日に申請のあった、設計及び工事の計画の認可の申請について、
0:00:17	11月18日に11ページの資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:24	まず規制庁側の出席者は、本庁からオオハシタカナシ。
0:00:29	オオオカフジワラセトガワとなります。
0:00:33	WEBからの出席者は、コサクタジリカミデになります。
0:00:42	それでは、日本原燃から出席者の紹介と議題の構成の確認、運営範囲、達成の目標を説明してください。
0:00:51	それではよろしくお願ひします。
0:00:54	はい。ごめんナカハマでございます。
0:00:58	日本原燃側の出席者を紹介いたします。
0:01:04	お話、
0:01:05	石原須川。
0:01:08	中チーズ。
0:01:11	ワオン。
0:01:12	クボタ。
0:01:16	下崎。
0:01:17	イシダ。
0:01:19	つうか、
0:01:21	どうぞ。
0:01:22	以上となります。
0:01:23	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、現在画面共有させていただきました、共通05及び共通08、
0:01:33	共通項目と個別項目の書き分けについて、
0:01:39	それという00-01以上となります。
0:01:43	それでは共通0508からご説明を開始させていただきます。
0:01:51	はい、日本原電シミズです。
0:01:54	それではですね、共通05ですね、令和4年11月21日に提示させていただきましたリビジョン12と、当これと関連しますので、あわせて、共通08、4年11月21日同日に達したリビジョン20
0:02:11	セットで、通しでご説明させていただきたいと思ひます。
0:02:15	はい、それでは共通05の方お願ひします。
0:02:18	通しページ11ページになります。

0:02:26	はい。こちら、表 2 の下ですね。
0:02:30	黒、一番下の黒ポツ、
0:02:33	はい。第 2 回の申請においてですね。
0:02:37	基本設計方針当初、すべてに変更申請側が主になるのでそちらに基本書きますというご説明させていただいたんですけども前回ご指摘いただいた点を踏まえまして、
0:02:51	使用済み燃料受け入れ及び貯蔵施設のように、
0:02:54	市への 1 項変更申請の方はですね、姑のあるものに、
0:03:00	主となりますか、いんが、対象設備にある基本設計方針につきましてはですね、
0:03:05	1 項変更申請の方に記載するというのを、
0:03:09	記載を追記させていただきました。
0:03:13	はい。続きまして、敷居 12 ページの方お願いします。
0:03:21	別設工認で今回の新基準を、
0:03:26	変更申請で何を申請するのかというのをちょっと前回ちょっとここでご説明した内容等をちょっと津久井付け加えさせていただきました。
0:03:35	まずは、4.2 (1) 第 2 ユーティリティ建屋に関わる施設ということでこちらにつきましては、藤深川が設備として緊急時対策建屋が追加されるという変更がございますので、
0:03:48	こちら系統上端ケース、あっせん結線図に負荷として追加しますということ、あとは基本設計方針の扱いですね。
0:03:57	電気設備、
0:04:00	第 2 章個別項目の電気設備の基本設計方針につきましては、大部分がですね、建設購入に変更側の対象設備という、
0:04:09	になるということを踏まえまして、基本設計方針としては、第 2 ユーティリティに関わる施設の範囲も含めまして、建設工認以降変更申請側で記載し、
0:04:20	ライニング T P 側の設工認の方はそちらを呼び込むということで、記載のほうを追加してございます。
0:04:28	この変更にあわせまして、次のページの 13 ページ。
0:04:32	とか要綱負荷の切離し工事も、基本設計方針のたてつけとしては同じような、扱いになりますのでその旨をちょっと追記させていただきました。
0:04:45	です。その内容をですね、もう 1 ページ、22、23 ページの方。
0:04:51	に書いてございます。工事概要の図面の方にも申請概要ということで、右下ですね、に追記させていただきました。22 ページが、

0:05:04	第2ユーティリティ建屋のもの、23ページ次のページが海洋放出管切離し工事に関わるものでございます。
0:05:12	はい。続きまして、
0:05:15	通しページ24ページになります。
0:05:19	江藤。冒頭ご説明さしていただいた基本設計方針、1項変更の扱い。
0:05:24	この表の場ですわねわかるように、左下の全般事項応じる書いてございますが、
0:05:33	全般事項ポツの中の、基本は2項変更申請を呼び込む形とするけどなお書きで、1項に関係する関連するものについては1項で記載するというのを追加させていただきました。
0:05:48	あと、どこの表でいきますと、24ページの、28条ですね、こちら、もともと時田阿久津廃棄施設、
0:05:58	そして藤岡さんの2番、の話がですね、28条に書ききれてなかったののでこの方修正させていただいてございます。
0:06:10	はい。あとは年ページ、
0:06:15	26ページ以降のマル付けの考え方についてはですね、共通08と同様の考え方ですので共通08側の方でご説明させていただきたいと思えます。
0:06:27	はい、それではちょっと資料の方、共通08の方、
0:06:31	引き続きご説明させていただきます。
0:06:43	今日は共通08の方になります。
0:06:48	はい。
0:06:49	テロップえーとですね、通しページの、
0:06:56	30ページ以降で、
0:07:00	節設備リスト丸付けの考え方の方を整理してございます。今回変更させていただきました。
0:07:08	目が、
0:07:09	少々お待ちください。
0:07:18	あ、すいません。
0:07:19	今回ちょっと一部修正させていただいたんですけども、
0:07:23	一部ですねまだちょっとベース、資料を確認する中で直しきれてないところがございまして、それがですねまず5ページ30、
0:07:33	1ページから始まります閉じ込め、第10条のところの対象の考え方でございます。
0:07:39	こちらについてはですね、今、
0:07:43	閉じ込めの対象としてですね、第1項のところですね。

0:07:50	のところにですね、とじ込みに関連する施設としてですね。
0:07:55	ご提起閉じ込めた換気設備閉じ込めるんですけども、やっぱりそれに関連するものとして、
0:08:01	建物道路というところもまだちょっと考え方としてちょっと記載が足りてなかった点がございます。こちらの方はちょっとすいません、次回の資料にはしっかり盛り込んで対応させていただきたいと思います。
0:08:13	あと重症関係でいきますと、
0:08:16	ペアでしっかりセル等が管理引かれて閉じ込められてる状況を、
0:08:22	見てるところ施設として、転換施設のダスマニタ等ございますが、こちらについてもですね、10条に、広く見ると還元するということで、対象設備としてしっかり守り、
0:08:35	記載したいと思ってますので、こちらの考え方の方はちょっと修正させていただきたいと思ってます。
0:08:43	はい。続きまして、
0:08:48	38 ページの方をご覧ください。
0:08:54	こちらの方はですね、共通 09 選定作業の方、整合性ということで、
0:09:01	固体廃棄物廃棄施設の中にもですね、液体を取り扱うのがあるので、24条との関連がある施設ということで追加してございます。
0:09:12	はい。
0:09:13	続きまして 39 ページのほうをご確認ください。
0:09:19	衛藤。
0:09:21	28条換気設備ですね、こちらの中でですね、先ほど共通 05 号でもご説明させていただきましたけども、これず、圧力圧力放出系のフィルタユニットにつきまして、
0:09:33	28の換気設備該当するということで、
0:09:36	記載のほうを追記させていただきました。
0:09:43	はい。
0:09:44	引き続きまして、42 ページから、ちょっとご確認をご確認ください。
0:09:52	重大事故関係ですけども、
0:09:55	前回、
0:09:56	ご指摘いただいた点としまして、ものの扱いをどうするんだという点ご指摘いただいております。
0:10:02	再度ちょっと検討したというところ、再処理施設につきましては、
0:10:08	複数の建屋で現場での作業、広くやるということがございますので、こちら、3、
0:10:16	10、例えば、

0:10:19	8条のところに書いてある通り、
0:10:21	アクセス訂正等を考慮して、関連する建屋の方を、都丸付するという ことで、重大事故の対象条文全般的にちょっと見直してございます。
0:10:34	はい。
0:10:38	あとS重大事故判定につきましては、18号の対象。
0:10:44	のでですね使用する。
0:10:45	パラメーターを継続する計測設備、こちらの方もですね、最初の以降に 還元するものということを踏まえまして、共通09との考え方を整理し まして、
0:10:59	各事業対象の条文に、計装設備につきましても丸付けするということ で、考え方が見直しでございます。
0:11:09	はい。
0:11:10	あとすいません、ちょっと資料戻っていただきます。すいませんちょっ と説明順番が、
0:11:16	例もとっていきましていただきまして、
0:11:20	通しページ30、すいません。
0:11:24	33ページですね、ちょっと後、もう一度戻っていただきたいと思いま す。
0:11:32	やはり、こちらの12条13条、溢水薬品の意匠のを、今、考え方を記載 してございます。
0:11:40	ちょっとこの記載もですねちょっと十分書き切れてないところがござ いますが、12条13条につきましてはまずは、
0:11:47	防護対象として、こちらの機能喪失高さを有するためと書いてますが、
0:11:53	影響評価を実施する必要があるものにつきましては、まずは条文に該当 するというので、丸をつけたいというふうに考えてございます。
0:12:03	プラス、二つ目に書いております、家具薬品と溢水の防護対象設備です ね、こちらにつきまして、
0:12:14	設計としてですね。はい。対象として使う設備につきましてはしっかり 書き込むということでちょっと考えてございまして、こちらは一部です ね、今、各条0側の説明、
0:12:26	ご説明してる内容をちょっと正確にちょっと取り込めてないというところ もございますので、対象設備のところにつきましては、今設計中とい うことで広くちょっと書いてたところがございますけども、
0:12:37	設計の確定したところを踏まえ内容を踏まえましてですね。
0:12:41	対策設備として採用するものをしっかりかあいかみたいと思っております。

0:12:49	はい。
0:12:50	こちらの考え方の見直しを踏まえまして、
0:12:54	当資料でいきますと、
0:12:58	45 ページ以降の申請対象設備リストの方を全般的にちょっとず、再度見直して丸付けのほうを適正化してございます。
0:13:08	はい。
0:13:09	引き続きまして、
0:13:12	防止ページですけども、
0:13:14	247 ページ以降、ちょっとご確認していただきたいと思います。
0:13:21	こちらにつきましては、申請対象の各添付書類添付図面、
0:13:26	条文の関係を整理した、マトリックスの考え方を整理してございます。
0:13:34	はい。こちらにつきましては、こちら、第 8 条で第 10、川内八条については、アユ衝撃につきましては、
0:13:46	各役員の考慮する必要がございますので、
0:13:50	薬品の説明書を反映するということで、都丸付の方、見直しの考え方の見直しでございます。
0:13:56	第 40 条につきましても、取り組みの観点で、計測制御設備が関連するということで、
0:14:01	計測制御系統施設に関する説明書の方を展開してございます。
0:14:09	はい。主に、そういうところを
0:14:13	編を見直し他のと。
0:14:15	江藤 252 ページ。
0:14:17	からですね、重大事故狩野。
0:14:20	のところでちょっと見直してる点がございます。
0:14:23	先ほど建物の位置付け、
0:14:27	設備リストづけの考え方、見直しでございますので、それを踏まえまして、
0:14:32	島弧内数だったり平面図断面図というところにもフィードバックして、考え方の修正しまして、
0:14:41	越智ページ 256。
0:14:45	7、6 ページ以降ですんで、こちらの
0:14:49	マトリックスの方も、全般的にちょっと見直してございます。
0:14:54	で、ちょっとすいませんここで 1 点ちょっと訂正直し漏れがちょっとございまして通しページ 257 ページになります。
0:15:03	第 28 条の換気設備の条文がございます。

0:15:08	こちらのところですね。すみません。設定根拠に関する説明書の部分 がですね、バーになってございますが、
0:15:16	こちら換気の排風機の設備の排風機の容量等関連しますので設定根拠が ないというわけではないので、こちらの方は記載を適正化させていただ いたら、すみません主次回提出時には直させていただきたいと思ってお ります。
0:15:31	はい。
0:15:32	引き続きまして、
0:15:37	指定し、365 ページの方ご覧ください。
0:15:44	こちらは真ん中ほどにあります 711。
0:15:49	1、照明設備ですねこちら共通個別の書き分けの整理をちょっと踏まえ まして、照明設備の方に第 2 章で戻すということで、年文字の方修正し てございます。
0:16:01	はい。その他にですね、現在この資料につきましては、
0:16:06	仕様表と構造図ですね、紙修正版ちょっと付けしてございますが、
0:16:12	化学薬品の観点での配管の仕様表の取り扱い、申請書上の記載の扱いに つきまして、
0:16:19	現在ちょっと外竜巻 34 の資料でその考え方を盛り込んだ資料をです ね、本日、
0:16:24	提出させていただいた上で、ご説明させていただきたいと思ってる ので、通す仕様表と構造につきましては酸素竜巻 34 の中でご説明させて いただきたいというふうに考えてございます。
0:16:37	あと、すみません。そう最後ですけども、通しページ 1042 ページにな ります。
0:16:46	工事の方法の留意事項になります。
0:16:49	こちらですね、
0:16:53	高齢廃棄ガラス固化建屋で発生しました冷却機能の一時喪失、
0:16:59	この対応を踏まえまして、もともと江藤。
0:17:03	2 ポツということで、工事上の留意事項を書いてございました。
0:17:09	並行してですね、前回ご説明した時期による予定、まだ報告書の方まだ フィックスしてなかったんですけども、最終的に 9 月 5 日、
0:17:21	教えさせていただいた報告書の内容で、フィックスしたということで、 この記載についても、その内容も取り込んでございますので、この記載 で
0:17:31	問題ないというふうに考えてございます。
0:17:33	また、共通 10 番についても、

0:17:36	留意事項はしっかり書いて、印象関係についても、特段変更する点はないかなというふうに考えてございます。
0:17:44	はい。説明は以上になります。
0:17:49	説明ありがとうございます。それでは規制庁側からの質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。
0:18:00	清町の田尻です。まず、ちょっと 05 の方から確認ですまさに 11 ページのところ、
0:18:09	江藤基本設計方針でいくことにこの話をされていて S F P とかに関しては 1 個変更の方でって話されたんですけど、
0:18:17	おっしゃってたのは、第 2 章部門だけが 1 個変更にきてで、第 1 章部分に関しては、2 項変更の内容を呼び込むような形、呼び込むっていうか同時に出てきてるかどうかってところあるんですけど、基本的には、2 項変更の方で記載するとかそういう話でしたっけ。
0:18:35	日本原燃清水です。はい。そのご理解の通りで、2 章の個別項目の部分につきましては 1 項側で書いて、共通項目、
0:18:45	なる A については、2 項変更申請と書いて呼び込むという考えでございます。
0:18:51	生協田尻です。D B 側でいうと閉じ込めとかにぶら下がりながら S F P とかはいるところとかあると思うんですが閉じ込め部分に関してはもう共通的な話として 2 項に書かれて 1 個の方でスピーカー 1 局で、
0:19:03	これ S F P の D B S S P が行って何か対象あるんでしたっけ。
0:19:09	はい。日本原燃清水です。プール関係の糸井今川の整理で考えてございます。
0:19:20	はい。規制庁田尻です。なんで、S A の方も込みで、以降、西尾側の方の具体の個別設備のところに関してだけが、
0:19:29	以降編成で S F P 側の方でし出てくるってことですね一応状況変わりました。
0:19:36	あとすいません、ちょっとは少し、次のページいっちゃうんですけど 12 ペイジーでいただいて、
0:19:43	ちょっとすみません、理解しきれなかったところがあるんで一応確認なんですけど、
0:19:48	基本設計方針のところ、建設工認の方で書くんですって話されたんですけど
0:19:55	そこによって第 2 ユーティリティの話って書いてあるんでしたっけもとの認可が既認可部分が、別の設工認だったから今回別申請が出てきてるような形になってると思うんですけど。

0:20:07	共通的な方針としての部分だったら別に当然読めるとは思ってるんですけど、個別設備としての第2ユーティリティの建屋の話っていうのは、
0:20:17	書かれてないってことですかね。譴責方針には、
0:20:23	はい。日本原燃清水です第2章個別項目の、
0:20:29	電気設備につきましては、条文結果共通的な考え方と、全体の電気設備としての系統構成の考え方を、第2章個別項目で書きます。
0:20:44	ちょっとまだ、すみません拡充0精査中ですけども、その系統構成のご紹介の中で、全般的にユーティリティの内容も含めて記載するという考えでございました。
0:20:59	一応タジリです。ちょっと今後精査されていくんだとは思んですけど、要は既認可として、建設工認っていうのは建設工認とそれプラス第2ユーティリティと開発課の話があって、
0:21:12	何で建設工認の変更前に、
0:21:15	ていうのは、第2ユーティリティの話ん。
0:21:18	何を休憩の話は出てくるんでしたっけ、ちょっと別すみません、古作です。
0:21:23	ちょっと
0:21:25	話がかみ合っていないので、
0:21:27	間つなぎますけど、
0:21:30	第
0:21:31	この建設工認の第2項申請っていうのは、
0:21:36	あくまで建設工認の変更であって、
0:21:40	その中には第2ユーティリティは入っていないと。
0:21:44	いうこと。
0:21:45	そこは現年、
0:21:48	何、タジリが言いたい、土俵はわかってますよね。
0:21:53	はい、日本へ年シミズはい。
0:21:56	頭にコサクです。だとすると、何そこで、その2個、大ユーティリティの話も含めてっていえるんですかっていう。
0:22:10	のをちゃんと整理しなきゃいけませんよと。
0:22:12	いうことを言われてるということで入れたいんですと言っても意味がない。
0:22:17	いうことです。
0:22:20	その点はですね、
0:22:23	濃縮の時とかもいろいろとふくそうしている。
0:22:26	申請をどう束ねるんだと、というようなことで話をしていますけど、

0:22:33	少なくとも第2ユーティリティの
0:22:36	当初の設工認は認可されているので、
0:22:42	そ、それでべ別工事として認可を受けているものだと。
0:22:47	いうことを、何らか付記して、それと統合してやっていきますと、そちらについては、改めて別、同時申請ですけど、
0:22:58	別のに更新制で対応してますと。
0:23:00	いうことを書くことで、
0:23:03	本来は入ってはおかしいんだけど、
0:23:06	一体としてやるのでということで、入れていくと。
0:23:10	いうことじゃないかと思ってますけどご理解いただけました。
0:23:15	日本原燃志水です。はい。すいません。解説していただきありがとうございます。ございますはい、コサクさんの今おっしゃっていただいた内容で第2回の申請書の作成の方をちょっと進めたいと思って思いました。はい。
0:23:32	規制庁田尻です今ので理解できましたありがとうございます 05 事務部会長の 0 関連で他にあれば規制庁ばお願いします。
0:23:52	なければ共通 08 の方の質問に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:24:00	よろしいようなあれでは共通で発注して回る方いらっしゃいましたら、お願いいたします。
0:24:10	すいません。では私から、原子炉規制庁のセトガワです。
0:24:14	今回ちょっと出していただいた共通 08 の、
0:24:18	254 ページ。
0:24:25	のところになるんですが、
0:24:27	今回、
0:24:38	すみません。
0:24:43	なんか 252 ページとか 254 ページのところ、
0:24:46	今年度、配置図のところアクセスルートの溢水事故条文のアクセスルートの観点で、都丸つけていただいたと思うんですが、
0:24:58	各条文で追加しているので、ところで、44 から 46 条の部分が、
0:25:14	加配中にしか、丸がついていないのはなぜなのでしょうかとというのがちょっとお聞きしたいんですが。
0:25:27	日本原燃清水です。はい。今 44 条で例えば言いますと、
0:25:33	越智さん、こちらの効率抑制設備になるので、その前のページ、52、252 ページの構内配置図ですね。
0:25:41	こちらの方で

0:25:44	設備の配置とかを示す観点でということちょっと書かさせていただいて、構内配置屋外者ということで構内配置図の方で、
0:25:51	受けるものと考えて記載してございました。
0:26:03	すいませんわかりました。ありがとうございます。
0:26:07	すいません補足です。ちょっと話が。
0:26:12	何ですかねセトガワさんの言っている範囲が広すぎて、今回答が1ヶ所でしかなくて、
0:26:19	全体として本当にわかったのかどうかがよくわからないんですけど。
0:26:25	放出抑制、
0:26:28	たとえば、
0:26:31	放出抑制はどこから始まるかっていうと、
0:26:35	貯水槽から水を汲み出すところから入ります。
0:26:41	はい。日本原燃主事です。はいその理解でございます。
0:26:46	その時コサクです。くみ出すところはどこかっていうのは構内配置図でわかりますか。
0:26:58	水層なり保管所なりの配置図なり、
0:27:05	必要ないですか。
0:27:08	日本原燃清水です。今、ご指摘をいただいて、確かに、G、さて、浄水場、
0:27:17	野中の部分をどうするんだということだと思いましたのでちょっとこちらですねおっしゃる通り建屋の中に引き回しとしますので、しっかり確認して、
0:27:27	必要であれば、
0:27:32	秋田氏の方で構内配置だけではなくて、
0:27:36	ひきずとも44条、
0:27:40	45条というところ必要かどうかというのをちょっと確認させていただきたいと思います。
0:27:49	はい、古作ですよろしくお願いします。
0:27:52	セトガワさん、系統図とかは論点なくていいんですか。
0:28:16	セトガワさんは聞こえてます。見てますはい。
0:28:21	別に私、論点があると思ってるんじゃないなくてセトガワさんの最初の発言が曖昧だったから聞いてるだけ。すいません。
0:28:30	私からは、ございません。はい。
0:28:36	コサクですけどほか確認しなくても大丈夫ですか。
0:28:40	すいません。大橋ですけれども、ちょっと何点か確認をさせていただきます。

0:28:47	252 ページの構内配置図の場所ですけれども、
0:28:54	ですね。
0:28:55	こちらですけれども、
0:29:00	丸がつけてる箇所に関しては、四つ目の矢羽根のところ、S A の観点から聞くんですけれども、ところがいいの。事故対処に係る配備 R E D Y はい。
0:29:11	事業を示す観点からということで 39 条から 46 条まで青字で今回加えるんですけれども、
0:29:20	一応こちら設備を配置を示す観点からっていうことは具体的に言うと、可搬型設備の配置場所とか接続場所とかそういったことが示されるというような理解でいいんでしょうか。
0:29:40	日本原燃清水です。構内はいチーズにつきましては、最初に用いるその本当の
0:29:50	移送ポンプ中型移送ポンプなりってというのが屋外に、
0:29:55	起こしますのでそういう観点で今今回丸をつけているという理解でございます。今岡さんのご質問もちょっとすいません。
0:30:07	はい。
0:30:08	私、私が言った趣旨は、その構内配置図の方に、可搬型の配置場所とか、接続場所もこちらに、その衛藤示されるという、
0:30:19	ことですかね。
0:30:22	日本原燃清水です
0:30:24	すいません。
0:30:26	設備をですね、繋いだ対処に用いた接続した状態っていうのにつきましては、今、我々としては系統図として示すものというふうに考えてございました。
0:30:36	その場所もその系統図っていうか
0:30:41	この場所に接続するという
0:30:43	図面の系統図側に、この解説では特に示されないと。
0:30:49	通り抜けシミズ配送整理ということなんです。すいません。考えを改めていただきたいということなんですけど、系統図で、
0:30:59	接続箇所っていうか、建屋、
0:31:05	屋外から屋内へといったときに、基準要求になっている共通要因でできなくなるといってということで、対面に置くとかっていうようなことを考えてると思うんですけどそれはわかるように、

0:31:19	できるかと書こうと思えば書けるんですけど、なぜわざわざ配置図に書かないっていう判断をするのが理解できないんですけど、実用炉もそうってます。
0:31:37	日本原燃清水です。はい。おっしゃることは理解しました実用の方は配置図。
0:31:45	で書いているという状況も踏まえまして、無理やり系統図ではなくというかどうかと思いますので、
0:31:55	江藤、再度ちょっと検討させていただきたいと思います。
0:32:01	規制庁コサクです。よろしくお願いします。今、大橋が言った通りですけど、重大事故対処特に可搬については、
0:32:12	保管場所っていうことと、使用するときの設置箇所ということと、今話のあった接続という作業場所と、
0:32:23	いう3点、意識して書かなきゃいけないというところだと思いますので、構内配置図もそうですし、先ほど話をした
0:32:33	平面図断面図の方も、
0:32:35	そうですし、今、認識はされているんですけど系統図でもその趣旨を作って
0:32:41	作業の関係は見えるようにしてと。
0:32:45	ということで、それぞれ必要なことがあると思います。すみません。はい。
0:32:51	あれ、配置図と水平、
0:32:58	平面図断面図、平面図目皿建屋の他、すみません、ちょっと、
0:33:05	間違っ言ってしまいましたけど所長は伝わったと思いますので、それぞれよろしくお願いします。
0:33:11	はい。日本のシミズです要求事項と実用炉の状況を踏まえまして、資料の方を直したいと思います。
0:33:21	すみません大橋ですけども、結局は紙ですけどもちょっともう1件、確認をさせてください。252ページのこの同じページなんですけどもこの平面図のところで、
0:33:32	今回青字で加筆してもらってますけれども、こちらの記載で、事故対処に係るアクセスルール等に関連する建屋の新生会にということで、38条から42条まで今回次、記載してますけれども、
0:33:47	例えば例えばというか45条の水供給とかの貯水槽のちょっと、そこも建屋が含まれるものではあるんですけどもそちらは、丸がつかないものなんでしょうか。
0:34:07	日本原燃清水です。はい

0:34:10	先ほど小崎さんからいただいたご趣旨のコメントを踏まえましてですね、
0:34:15	セスルート等、G1034もあるという認識でございますので、多少条文の方精査させていただきたいと思います。
0:34:25	はい。よろしく申し上げます私から以上です。
0:34:34	規制庁カミデです。255ページのところで、
0:34:41	構造図なんですけど、
0:34:43	17条、37条、
0:34:47	がありますが、今、この記載で原燃の整理としては確定してるって感じですか。
0:35:04	はい。日本原燃清水です。
0:35:06	はい。開発共同の計算書においては、
0:35:13	藤鏡だとか、どこの部位を評価対象するんだという図面がつくという認識ですのではない。今の時点ではその認識でございます。
0:35:22	はい。規制庁神です。まず第1回ってこれ新生会ですよ。何かつくんでしたっけ。
0:35:30	日本原燃清水です。はいこちらの表記につきましては金貨後の計算書で示してる図面の呼び込み等をするということで第1回というふうに書いておりました。
0:35:45	と規制庁カミデせず、図面を呼び込んでいるというか、計算書を呼び込んでいるぐらいだと思いますけどそこでもう、
0:35:55	それも含むってことですか。
0:35:58	日本原燃志水です。今、現時点での考えといたしましては、呼び込んだ計算書の中で、
0:36:06	機器の概要といいますか、示した図があるということ踏まえまして、第1回の対象ということで整理してございました。
0:36:21	規制庁上出です。そうすると、
0:36:26	お礼の評価。
0:36:30	表に丸付けがしてあっても、実際今回の申請書にはそのものがなくて
0:36:38	呼び込みす呼び込んであるだけで、
0:36:44	ということ。
0:36:45	日本原燃石原でございます。シミズは言いましたけど、計算書を呼び込んでるだけで図面を呼び込んでる場合じゃない場合に、
0:36:56	これを書くと誤解を生じるような気がするので申請書そのものの形がちゃんと伝わるっていうことが、このマルつけの大事なことだということ、

	ちょっと第1回を書くのは誤解のもとな気がします実際図面を読み込んでいるわけじゃないですし、
0:37:12	トイレも含めてちょっと整理をさせていただきますいません。
0:37:17	はい。規制庁菅です。あれですね表にまとめたのが256ページで、
0:37:23	構造図のところに白丸クロマル両方あってっていうのもこれ、白丸が具体何を説明しててクロマルが具体何かっていうのとか、説明できます。
0:37:38	日本原燃志水です。はい。こちら、白丸につきましては、添付図面として付ける冷却塔の構造図の方位として書いてございまして黒マルの方は、
0:37:50	近隣から呼び込む先ほど計算書についている、概要図の方を意図して黒丸ということで書いておりました。
0:38:02	規制庁カミデず、
0:38:07	白丸が、
0:38:13	すいませんちょっと難しくてよくわからない。
0:38:16	すいませんコサクです。ちょっとすいません。
0:38:21	この表の見方っていうところであれですけど、既認可分っていうのは、原燃ではここはどう表現するつもりなんでしたっけ。
0:38:36	日本原燃日比です。は、先ほど石屋にご指摘指摘された通り、既認可分と、今回新規新設校に付けるものの差別化が今できてないという、
0:38:50	ことでいろいろ今ご指摘を受けているという、
0:38:54	ことがわかりましたので、ちょっと示し方の方は考えさせていただきたいと思います。
0:39:00	すいません日本原燃石原でございましてもう一つ先ほどのカミデさんが田代からも、すいません私これ、最初作った時のイメージと違って、もともと白マルを付ける理由は、
0:39:11	この条文の説明上この添付図面なりの図面を、間考慮してその設計を説明するかなってのもある。
0:39:21	黒丸がその図面そのものだと、全体の情報が、細かい部分も含めて説明がし切れるので、その部分に特化した情報を付加して、もどきとは言わないですけど類似した部分を、添付書類の中につけるという前に黒丸、
0:39:37	実際使うからという理由なので、僕は例えば、
0:39:41	5とかで白マルをつけられても、使わんかなというふうにはしかならないので、
0:39:47	整理がおかしいなという気がしますので社内で事前に見とけよって話ですけどすみません。
0:39:54	規制庁コサクです。まずですね、

0:39:58	帰任カーの呼び込みは明確にしないといけないということだと思っていてそれでいうと、今、今の表で申したの。
0:40:08	凡例見るとですね、凡例というか注記を見ると、
0:40:12	※2※3、
0:40:14	では、
0:40:15	それについて触れているわけですよ。ただこれ、丸運に対してしか書いてないんですけど、これをこういうのを黒丸も含めて書けば、
0:40:28	今の話は
0:40:31	活気はするけど、既認可者ですと、
0:40:35	ということがわかるんじゃないかなと。
0:40:38	思いますか。
0:40:41	とりあえず上出さんから考えていることとか言っていたい
0:40:47	た1カミデです私も同じことを持ってて判例に、既認可の話あるのに、なんでそれも表現できてないのかなって感じだったので、そういった点踏まえて少し直してもらえればと思う。
0:41:03	はい、日本円でシミズですはい、黒丸等につきましてもしっかり白丸同様に、呼び込むものなのかつけるものなかったのかというのをちょっと識別できるように表現したいと思います。
0:41:17	藤規制庁カミデクロマルだけの話をしたつもりはなくて白丸だって、今十四条に白丸ありますけど、先ほど何か経産省呼び込むと言ってましたが、呼び込むものなのに、
0:41:32	米が何も触れてないっていう状況なので、この資料問わず、
0:41:36	も含めてかもしれないですけど整理が必要かと思ってます。
0:41:41	八島湯原です。
0:41:43	コサクですごめんなさい。それでちょっと私も混乱しちゃったんですけど、今回冷却塔の構造図っていうのを付けるというふうに先ほど言われたんですけど、石原さんからは何でつけるんだっけというふうに、
0:41:56	何か言われてたようで、結局、どう考えればいいんですか。
0:42:12	日本原燃、清水です。
0:42:17	まず、今、この図の話ですけども、
0:42:23	今回、冷却塔の添付図面の構造図につきましては、
0:42:28	今回の新規制基準の要求を踏まえて情報として付加するものがございますので今回の設工認で、
0:42:35	いて添付します。かつ強度計算の方につきましては、
0:42:42	弁舌鹿野へ減ったといえますか、

0:42:48	何ですかね合流部分ですみませんちょっと名前忘れましたが一部評価部位のところを具体化してつけている図面が既認可の対象で計算処理もあるので、
0:42:58	クローズとしてつくということちょっと表現してございました。さっきから先ほどからご指摘いただいた通り、呼び込むのか作るのかという識別ができたのでそこはしっかり薄表現できるようにしたいと思っています。
0:43:13	規制庁不足です。で、今で言うと、白丸の方は、つけるので、そのまま黒丸の方は、注記を振る形で既認可者ですと、
0:43:26	いうことにされる。
0:43:28	ということですか。何しろ0なんだっていう話でいうと、
0:43:34	実際外部火災対応だったりでいろいろと
0:43:39	構造そのままではないものがあるのでっていうことですね。
0:43:43	はい。日本原燃志水はい。今おっしゃっていただいた通りで、外部火災での耐火塗料の話だったり、遮熱板の話があるので、はい。構造図としてはつけます。はい。
0:44:00	規制庁深見です。話を聞いてて私ちょっと白マルと黒マルを逆にちょっと思ってたので、勘違い。
0:44:07	きましたので、黒丸を整理してもらってと。
0:44:12	いうことだと思いますけど、そもそも今話を聞いてて、
0:44:18	ここで言っている構造図って、
0:44:21	どの範囲までいってるのかっていう感じがして今だと、冷却塔全体図面っていうのは白丸として、添付2、図面につきますと、
0:44:34	一方で構造図というよりは、評価の対象用評価対象の詳細図みたいなのころろう、
0:44:42	について着認可を呼び込みと言ってますけど、
0:44:46	ここで言ってる構造図っていうのはそういったものも含んでいるのか、それは材料構造だけ特別と思えばいいのか、その他の条文についても、
0:44:56	割とその評価に使ってる詳細なものも含めて構造図として書いているのかっていうとどんな感じですか。
0:45:04	日本原燃清水です。17条の材料構造だけではなくて、
0:45:10	他の条文も同じ考え方でこの黒丸の方をつけております。
0:45:17	例えば地震とかにおいても、地震の耐震計算書の中で評価部位を示す図面つけたりしますので、そういう意味で黒丸をつけておりました。

0:45:28	はい。規制庁亀井です。わかりました。それがあれですね適合性説明社内で構造図に相当するって言うのが割と評価物詳細図っていうイメージって感じですね。
0:45:41	はい、日本円シミズはいその認識の通りでございます。
0:45:47	はい。規制庁菅です。それで言うと、今度、十七条の、
0:45:54	8名中37条の第2回なんですけど、
0:45:59	この間材料構造の類型化の話をしたときに図面どうするのって言ったときに、それは構造ズー側dみたいな話もしていて、
0:46:13	ただそうなる等、
0:46:16	白丸場のあれですね、添付図面にそこまで細かいのを書くのかっていうところもあり、
0:46:24	とはいっても材料構造の今の申請書の構成上どこに図面つけるんだっていうところもあって、この辺はまだ整理がついてないんじゃないかなと思ってんですけど、事業者としては何か、
0:46:37	もう整理済みという認識なんですか。
0:46:40	病名シミズです。はい。前回ご指摘を受けまして、まだ現在整理しているところでございます。
0:46:52	はい。規制庁可児です。その辺の話はいつぐらいに聞けそうですか。
0:47:06	日本原燃シミズです少々お待ちください。
0:47:28	少々お待ちください。
0:48:10	すいません日本原燃シミズお待たせしました。今の予定ですと、資料を金曜日へ提出させていただいて、ヒアリング月曜日ということで、今考えてございました。
0:48:25	あと、規制庁カミデです00の予定はそんな感じだったとっていて、とは言ってもその図面のまとめ方まで、資料2、
0:48:35	見えてるかっていうのはあれなんですけど、いずれにしてもちゃんと整理した結果話が月曜日っていうことと理解しましたのでよろしくお願ひします。
0:48:45	はい。日本原燃瀬谷でございますはい。月曜日お話できるように、社内で整理をします。僕は思ったのはもともと気木野りした後とか、
0:48:58	話が出た条件整理表とか等、その設備の区分ですね、議員カーと変わりが無いのか新しく何か条件が変わったのかっていう区分、あとは、
0:49:09	風評時でその式をラベルしても在庫の場合はパーツによって試験及び肉みみたいな整理も必要な部分もあるので、そういったことを考えた上で、多分図面をつけていくかっていう話を、

0:49:21	月曜日は、できるかと思imasのでそういう部分で展開をさせていただければと思imas。以上です。
0:49:29	はい。規制庁カミデです。特に新規ものを、
0:49:33	妥当どういところを評価するのかどうかという構造になってるのかっていうのをちゃんと見た方がいいと思imasし、
0:49:41	それが
0:49:43	白丸っていうよりは多分黒丸なんだと思imas。一方で、帰任カー。
0:49:51	から変更、何か構造に変更がなくて条件だけ変わるものっていうのを、そこまでちゃんと見見る必要があるかっていうところもありますし、
0:50:01	そういう観点であとは全体の物量とかを見ながら、どういう示し方がいいのかっていうところを考えて説明してもらえればと思imasのでよろしくお願imasします。
0:50:12	はい、新美西原でございます承知いたしました。
0:50:18	はい。規制庁神です私の方からは以上です。
0:50:21	規制庁大岡です。247 ページ目のV準キーの八条のところ今回追加された、
0:50:31	神戸山野。
0:50:32	特別の漏えいに対する考慮についてはっていうところ。
0:50:36	6品で説明しますというところなんです、これは、他の、
0:50:43	記載がどうい事象に対してっていうことも書いたんですが、これはどうい事象に対して考えられている。
0:50:57	音源年シミズでちょっと節記載が十分ではなくてもおっしゃってありません。こちらについては、当該章その他の中で
0:51:09	運搬R I S タンクローリー等からの漏えいの話がござimasので、
0:51:14	そこを意識してちょっと書いておったんですがそこはよく来て表現できてないということで、記載のほうを改めたいと思imas。はい、光岡です。これが第2回の決定理由がちょっとわからなかったんですが、第1回目の屋外施設で、
0:51:29	その他、
0:51:32	医薬品として出てくる話ではあるんですが、そこら辺どうお考えで理解したらいかがでしょうか。
0:51:40	せ、日本原燃シミズすみませんちょっと先ほどちょっと説明を一部誤ってしまいましたすみません。
0:51:45	加賀和気様、レア化学物質の漏えいに対する考慮ついて今、第2回で考えていたのが、
0:51:54	総運搬車からの漏えい。

0:51:57	あえて建屋に流入しない。
0:52:01	入口は高さがあるよということ。
0:52:03	の説明を意図してちょっと第2回として書いてございました。
0:52:09	光岡です。第1回でも、冷却塔に対して、サンプルを、
0:52:14	の漏えいがあっても大丈夫っていうようなことを、結局評価することになって、
0:52:20	ここは登場するんじゃないかなと思っていたんですが、何で建屋の流入防止でルーティンでしょうか。
0:52:29	日本原燃清水ですおっしゃる通り第1回の屋外の冷却塔以下につきまして、
0:52:36	漏えいを考慮する必要がありますのでちょっと第1回が北井でございません。
0:52:40	はい。
0:52:46	の溢水に対し、
0:52:49	頭の中でも、
0:52:50	広野さん。
0:52:52	灯籠含まれてくるとは思っていたんですが、
0:52:56	そこの間接的にはなるんですが、その辺の関係はどうなってますか。
0:53:02	日本原燃清水です。はい。
0:53:05	竜巻随伴での工事するタンクに確かに
0:53:11	医薬品関係のタンクもあるので、すいません適切に直させていただきたいと思います。はい。ないところではあるんですがそういう理由をちょっともらって、
0:53:21	変えていただけるとより理解をするのかなと思いますので、
0:53:25	お願いします。
0:53:29	日本円でシミズ入りもしっかり書くように訂正したいと思います。はい、規制庁です。
0:53:36	医薬品はちょっとまだ、最悪、
0:53:39	でしたが、
0:53:40	救出されているリストが、
0:53:43	もう何か変わりそうな、
0:53:45	感じでしょうか。
0:53:48	日本原燃清水です。はい。今、溢水薬品につきましては、
0:53:54	協調設計中ということでリストを縦軸、整理してございました。
0:54:00	今、最新の情報設計状況を踏まえまして、

0:54:05	設計として確定したところについては記載等を見直しをしたいと思っ ます。はい。室長、そしてまたその辺をされたところ、
0:54:19	作業になりますので、
0:54:22	お願い。
0:54:27	その他原子力規制庁が質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:54:44	ないようでしたら共通 05 と共通 0 章について、原燃側からの振り返り と今後のスケジュールについてご説明をお願いいたします。
0:54:54	はい、井上石井です。共通 05 につきましては、当月設工認の第 2 ユー ティリティ建屋の基本設計方針の扱いですね。
0:55:04	こちらの方
0:55:07	徳田さんからアドバイスいただいた内容をですねしっかり考慮しまし て、資料の方にその旨記載させていただきたいと思います。
0:55:17	江藤共通 08 につきましては大きな点として、まず、
0:55:22	検品図面の
0:55:24	添付と説明書のマトリックスの考え方のところ。マトリックスの表 のところですけども、
0:55:29	金貨を呼び込むのか今回して、新たにつけるのかというところの差別化 が十分ではない点、こちらの方はまず、しっかり資料の方訂正させてい ただきたいと思います。
0:55:40	また S A 関係ですね、那覇、伊勢の要求事項も踏まえまして、
0:55:45	発電等の記載の状況も踏まえまして構内配置図であったり、平面図駄 目。
0:55:51	図、系統図なりに何を書くかというのをちょっとしっかり整理して手話 の方を見直したいと、いうふうに考えており、
0:56:00	ます。
0:56:01	また、
0:56:04	10 日 3 回ご指摘いただきました。
0:56:07	外傷のところの第 1 回で、薬品の影響評価対象があるので、第 1 回の対 象を追加する。
0:56:17	であったり竜巻全般につきましても、薬品関係のところもございませ んので、しっかり考え方含めて資料の方に、
0:56:27	友利見たいと思っております。
0:56:30	資料の、江藤。
0:56:33	必要ですが、
0:56:35	ちょっと中ですいません検討しますが来週の早い段階ですね月曜日な り、

0:56:41	火曜日にちょっと早い段階で出せるように作業の方を進めたいと思うんですが具体日程についてはまた、
0:56:48	事務局通じてご連絡させていただきたいと思います。
0:57:00	それでは次の資料案牛の方に、
0:57:04	共通、
0:57:06	個別の書き分けの方の説明よろしくお願いたします。
0:57:12	はい。石原でございます。共通項別の掛け金についてすいません。今まで何度かヒアリングをさせていただきましてありがとうございました。
0:57:20	この前の議論が最終的な形として整理をさせていただきました。
0:57:27	特に前回も議論になっちゃ、3ページの
0:57:34	あれですね③番の定義のところは、全体もう一度確認をしたという結果も踏まえて整理をさせていただきます。また4ページにあるものをですね、
0:57:50	③番運営されるとやはり
0:57:54	第1、第1章共通から飛ばして第2章で受けるという形にも整理をさせていただいておりますしあと、右下3ページにある6ポツ、7ポツ、溢水と化学薬品これも
0:58:08	出しをした中では整理をさせていただいたと思います
0:58:13	ちょっと私が手を加えてそのあと、出てきたと最終確認してないものを書いてますけど、おそらく資料が出てきてると思いますがその中でも第2章の通り、私予備フリー
0:58:25	の文章を付けさせていただいてると、いうことで整理をさせていただいてございます。
0:58:31	あとその検討結果に合わせて6ページ以降の整理も、それぞれ整合とれてないところが幾つかありましたので、修正をさせていただいているということでございます。
0:58:43	はい。はい堅田でございます。説明以上になります。
0:58:50	それでは規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:58:55	はい、規制庁さんはずっと幾つか、認識合わせも込みでなんですけど、前回のまず復習も込みでなんですけど4ページのところでなんですけど、
0:59:07	今回事故対処に係るものとしていろんなもん書いていただいて上のところ、
0:59:13	開いてあってなお書き以降のところ、誤操作の話が書かれていて下線書かれてるのは間違いだと思うのでそこは直させていただくんですけど、

0:59:21	ここの一番最後のところで誤操作防止に係る設備の設計方針については っていうふうに言っているこの言葉の意味なんですけど、
0:59:28	ここで言ってる誤操作ってというのはあくまで事故対処時の誤操作やちょ っとその前のすぐ手前のところに書いてあるところに限定した誤操作の 話を書いてあって、
0:59:38	通常の誤操作防止っていう意味でいうと別に配管だろうが弁だろうがそ ういう現場の話もあるけれど、そこに関しては個別のところに飛ばすよ うな話じゃなくて設計方針であくまで見ているから、あくまで、4ポツ と4ポツ2という話で、西田でございます。はい、ありがとうございます。 おっしゃっていただいた通りの整理でございます。
1:00:00	規制庁田尻です。その時にここ誤操作防止に係るっていうふうに修飾語 なくとバースのが適切かどうかという話なんですけど。
1:00:08	要は御社の場合ちょうど誤操作防止ダブったところ、誤操作防止に関し ては計測絡みのところだけなんですっていうふうに言ってしまうところが 本当はまた前の文章のところでも全般が読めるからっていうところで整理 ができてるのは認識するんですけど、
1:00:23	ぱっと見見た目はこの誤操作防止に係るやつの個別はここでしかありま せんっていうふうにも見えてしまうんですけど、ここっ て、
1:00:30	手前の文章が長すぎるから書きづらかったんですかなんか事故対処に係 るとかそういうイメージの言葉の修飾があるかどうかということなんで すけど。
1:00:38	はい、上西でございますはい。そういう意味でおっしゃっていただい ている通り誤操作防止とってしまうと頭のところも含めて全体を置いて いて共通的におる
1:00:49	1みたいな話ですね①②がグループみたいに共通方針は、第1章で言っ て、個別具体的に銀行はないにしても、それを受けて設計をしますよと いうのが、全般論でございますので、
1:01:01	第5章で飛ばしている先はおっしゃっていただいている事項の対象に関 わる、誤操作、進化の設計というのが、枕言葉にした方が正しく事が伝 わるかと思しますのでそこはちょっと修正をさせていただきたいと思 います。以上です。
1:01:19	はい規制庁帯磁率今言っていた通りちょっとまた別な文章全般を 受けてしまったような言葉にもなっているのでそこはある程度適正化し ていただいた方が、要は何を個別に飛ばしたのかってというのがはっき りするかなと思うのでよろしく申し上げます。

1:01:32	あと同じページですので、前回の復習なんですけど、
1:01:35	一つ目のパラとかパラで緊対所っていうのは結局広く取って関係するから入れるっていう整理で片づいたらよかった、ちょっと最後の結論忘れてしまったんで確認なんですけど、
1:01:46	はい、李西原でございますはい
1:01:48	かなり資料でとってるっていう意識はありますけども、勤怠エディターの許可の委員会でも、設計基準事故時において使用するという事も踏まえて、
1:01:59	書いてるところも受けた上で広く取らせていただいたということでございます。以上です。
1:02:05	規制庁田井です。一応の確認になるかもしれんけどこの案のところでも聞くんですけど、ああいう添付通り健全施設名称が書かれる形になっていて、
1:02:16	D Bの条文としては制御室とかああいうの条文とか受けてっていう形にはなってるんですけど、緊対に関しては多分小部通の設備としてそこまでかからないからっていうのでいや、冒頭のところで条文を意識変えてっていうようなところで明記まではしてなかったんですけど、
1:02:31	カラムと言ってもこの一つ一つの個別に見るようなもんじゃないからあそこで主に関わるものを見ている、書いているという整理で書いてないとかそういうことでよかったですかね。
1:02:41	はい有限者でございます反省が、難しいところもありますが、ちょっと軽重をつけさせていただいているのは事実でございます。
1:02:51	はい。規制庁田尻です。変わりました。ちょっと後で案いうの米00の資料のところでも少し確認したいところがあるのでそこは後で確認させていただきますこの資料に関して自分からは以上で他の方あったらお願いします。
1:03:05	規制庁の藤原です。
1:03:08	前回のヒアリングでも確認させていただいた9ページのところの、
1:03:12	放射線管理施設とか計測制御系統施設とかで整理されているところ。
1:03:17	結構複雑にはなったものの、
1:03:20	前半のところ衛藤のところは、のブロックの方ですね大野保育園管理施設の方は、管理区域内とかそういったところの話があり、
1:03:31	監視設備の方は、もう少し外回りの話っていうところでまとめられたという理解でいいですかね。それに関連する計測整理のところも、分けて書かれてるということで理解したらいいですか。

1:03:45	はい。日本エリアでございます。書き方のセンスは問わずということであればおっしゃっていただいている通りでございます。
1:03:52	規制庁の藤原です。わかりました。ただ、1点、綺麗に整理できてるのが心配なところが、一つ目の方に書いてある、放射線管理施設の基準、
1:04:04	技術基準規則の下、記載内容が、1個だけ、1号でしたっけ、のところが一部ですね、の部分だけになっていて要望の部分が入っていません、
1:04:16	20条の計測制御のほうは4号の話も書いてあるところ、抜き出されてるってところで整合がついていないので、その点は綺麗にして、ちゃんと整理できてますってことを、
1:04:26	衛藤。
1:04:27	表現していただいたらいいかなと思いますが、いかがですか。
1:04:31	はい。日本エリアでございますはい。承知いたしました申し訳ございません。
1:04:37	町長の藤原ですよろしく申し上げます。この資料について私から以上です。
1:04:49	清長シミズほか、規制庁側からよろしいでしょうか。
1:05:00	理解しました。
1:05:03	はい。藤。
1:05:04	比留間原燃側から振り返りとスケジュールお願いします。
1:05:11	はい。飯野弁理士原でございますはい。
1:05:16	先ほどございます佐治さんからのお話やりとりさせていただきました4ページの話ですね、石岡西尾への紐付けの話を展開後は、
1:05:27	6ページ以降の表のところ先ほど藤原さんがあった監視設備関係の整理を修正をして提示をさせていただきます。現状的には、
1:05:41	何となくいう修正が必要であればそれとセットで、
1:05:45	これ自体は明日でも出せますし、そのセットに月曜日であれば月曜日に出させていただきますということで、考えております。以上です。
1:05:55	規制庁清水です。というの方ではまとめて回答いただければと思います。こちらの資料についてよろしければ、
1:06:05	続いて家の資料に移りたいと思います。原燃側から説明の方をお願いします。
1:06:17	一番、
1:06:18	ああいうそれぞれのうち、うちにつきましては、
1:06:22	先ほどお見せした基本数と、
1:06:26	個別の修正事項は、

1:06:48	愛したというところで修正をしております。
1:06:51	ただ先ほどこちらからご説明した通り、誤操作の記載に関しては、
1:06:56	何を飛ばしたかというところを明確にする必要がありますので、その点については後程清修正させていただきます。
1:07:04	すみません、簡単ではありますがああいうからは以上です。
1:07:09	規制庁清水です。それでは規制庁側からです。さっきの共通シリーズと関わる場所かからないところありますけど幾つか確認させていただきます。
1:07:19	まず、ここ一番最初は本当に何か構成の考え方について一応事実確認という形になるんですけど、今回基本設計方針頭の方から書かれていて、
1:07:29	どういう順番で書いてるかっていう認識の合わせだけしておきたいんですけど、安全機能を有する施設に関する本当の基本的なものといったものが安全機能を有する施設であるとか安重だとかっていうものを書いた上で、
1:07:42	重要度に応じて確保しますよって言ってその次に今回さっきの事故体制の話の文言を入れてその部分で飛ばす話を書きつつ、そのあとのところで、これもMOXも同じなんですけど変えていける、PPの話とか書いてそのあとに冷却期間の話をとという形になっていて、若干、
1:08:00	バラバラのものなのでどういう順番でっての難しいところなんですけど、基本的には設計に係る共通的な話というのをまとめて書いていて、それ全体に関わる話としてPTの話そのあとなお書きで書いて
1:08:13	プラス、使用条件に関わるような話として冷却期間の要は燃料の条件についてを述べてるとかそういう順番で一応(1)って分かれてると思っておけばいいですかね。
1:08:24	日本原燃の松田です。はい。竹内さんから今おっしゃっていただいた通り、まず前半にバックリとしたものをまとめるというスタンスで、資料を作成してございます。以上です。
1:08:36	はい。木曾店長タジリ、ちょっと商標周辺では当初、燃料の冷却の話を書かなきゃいけなかったのがその順番がちょっとややこしいところであるけどそれで並べてるってことで一応理解いたします。
1:08:47	で、次なんですけど、もうちょっと一応認識の確認という意味なんですけど26ページ行っていただいて、
1:09:00	既許可添付に書かれてるところろうのカミデ1局なんですけど、

1:09:04	前回は、前回、以前に1回聞いたことある気がするんですけど長期曜日とかの話が書かれてると思うんですけど26ページの添付の一番下のところで長期日とかの話が書かれてると思うんですけど、
1:09:15	長計予備っていうのをちょっと記念館でどう扱ったか含めての確認にはなるんですけど、徴求日の話っていうのは仕様表か何かで長期曜日だって謳うんでしたっけそれともどっか。
1:09:25	設計方針的にどこかに出てくるもんでしたっけ。
1:09:31	日本原燃志水です。今おっしゃっていただいた、治療法ですね、地震との仕様表のところで、わかるように書いてございました。
1:09:41	ちょっとタジリです。その場合、長期曜日っていうのは第1章として個別にうたうというよりは対象としては維持管理の話で大枠として訴えるようなところで読んでいて、
1:09:51	第2章部分でこいつは長期予備であるとかそういう部分で個別設備のところであたり仕様表であたりってというのが、今後なのかちょっと滑川から出てくるというふうに思っておけばいいんですかね。
1:10:02	はい日本円でシミズですはい。第2回のところでは今おっしゃっていただいた認識の内容でお示しさせていただきたいというふうに考えておりました。
1:10:11	はい規制庁田井です。第1回部分として共通部分ではなくてかつ1回申請の対象設備のところ長期TBという概念は出てこないの出てきてなくてただ2回以降のセル内の機器とか使うところが出てくるということで理解いたしました。
1:10:23	次もちょっと認識の確認なんですが、33ページ行っていただいて、
1:10:32	ここも許可の添付に書かれている話なんですけど、許可の本文添付ですね本文添付で書かれてる話で、藤FCSの先行利用の話の位置付けの一応確認なんですけど、
1:10:44	一応許可のタイミングでは、彼らのFは先行して使用できるという形で書いているんだけど、今回というふうな意味でいうと、今まで藤崎に動いた経緯はあるものの、新規制基準対応として不文も、本体部分を合わせてやって、
1:11:00	だから同時に動かし始める形になっていて、だからかいう法律家の切離しとかそういう話も合わせて申請する形になっていて、なので、設工認断面で言うと先立ち使用するっていうのも使うことはないから、設計方針としてうたってないと思えばいいですかね許可に関しては、
1:11:16	従前から残ってるやつを消してはいない状況になってるんですけど設工認としての位置付けって意味でいうと、

1:11:21	要はFだけ先西尾やって動かしたいんですとかそういう概念はもう元にはないというふうな認識でいいんですよね。
1:11:28	はい。日本原燃シミズですはい。新規性基準対応に伴う対応については、おっしゃる通り同時に、
1:11:36	第竣工させてさしていただくと考えてございますので、この儀間のグレイアウトしてる部分については、Fの本当に一瞬、
1:11:46	昔竣工させるときの対応ですので、はい今は関係ないということでグレイアウトさせていただきました。
1:11:52	はい。規制庁館です。なんで近隣かのタイミングにおいては許可を受けて9番9分割かなんかして最初の方でFやってそこを先に使用前で動かすという概念があったけど今回に関してそういう概念がよくなったので、
1:12:03	許可の更新として扱う大抵建設購入としては、謳う必要がなくなったものとして、今回除外して書いてないということで一応理解しました。
1:12:11	次はすいません
1:12:14	37ページなんですけど、
1:12:17	37ページ自体の記載がというよりは、認識合わせなんですけど、
1:12:21	第2章の話で、要は今回の申請では第2章対応部分がありませんよというのが書かれていて、
1:12:27	これっていうのは要は安易にぶら下がる第2章部分がいなくて、閉じ込めであるとか、火災であるとか、竜巻だとかのところにぶら下がる形になっていてアイデアぶら下がるものがないけど、一応昆、そういったものを示す予定ですよというところの、
1:12:43	目次だけがついてると思えばいいんですかね。
1:12:46	日本原燃の松田です。はい。今田尻さんのおっしゃっていただいた通りの意図で資料を策定してございます。
1:12:52	はい規制庁たですなんで最初の頃はどっちについてたりってのがなんかぐちゃぐちゃになってたけど、それぞれぶら下がる場所で述べるようになったので今回ここにはついてないということを理解いたします。
1:13:03	あと、
1:13:05	なんちゅう6ページで、ここはすみません、文言だけの話なんですけど、一般的に使ってきてるかどうかというところなんですけど、76ページの、
1:13:15	下から5行目ぐらいのところなんですけど、
1:13:18	そうしたの制限機能とかっていう言葉って割合よく使ってきてるんですけど、意味合いは何となく想像はつくしわかるんですけど。

1:13:27	何か設計とところでこういったもの持って使ってきましたっけ。
1:13:32	日本原燃の松田です。使ってる使っていないーで言えば、許可の時点で安重の機能を説明する時にソースターム制限機能という言葉将我々は使っております。
1:13:44	規制庁田井です。ここで使ってましたっけあれソースターム制限機能って定義してるんでしたっけそこで、
1:13:54	日本原燃の松沢です言葉としては使っているんですけど、定義づけがあるかないかでいうと確かなかったと。
1:14:03	記憶してます。
1:14:05	以上です。同じです。いや、ソースターム制限機能が定義されてないにしろ、この設備のことであるっていうのが明確化されてるでいいんでしたっけ。
1:14:13	日本原燃の松田です。強化添付で明確化されております。
1:14:19	はい、規制庁とSD許可添付で明確化されていて、設工認でそこをさらに具体化する必要は、第1回申請の時点ではないということですかね。
1:14:30	日本原燃の松田です。今おっしゃっていただいた通りでございます。
1:14:35	はい規制庁館です。なんで、第2回申請以降のところ、ソースタームの制限給油する機器、他のところのやつも、他は名前から大体わかるような形になってるんですけどそちらも制限機能を有する施設ってのはこいつらですよっていうのが、
1:14:48	許可のタイミングでもやっていたけれど設工認レベルの、
1:14:51	施設一覧の文言とかに合わせたばそこんところは、今後説明される第2回申請以降で説明されるという理解でよかったですかね、そんな感じだと。
1:14:59	日本原燃の松田です。はい。今おっしゃっていただいた通りでございます。
1:15:04	はい。規制庁田井です。わかりました。阿藤。ここの文言だけなんですけど、108ページ行っていただいて、
1:15:14	下から3行目のところで通常運転時という言葉を使ってるんですけど再処理って通常運転時って言葉を使うんでしたっけ。
1:15:24	運転停止時の話等のすみ分けなんですけど。
1:15:29	はい。日本原燃の松田です。ドーン、
1:15:34	確かにおっしゃる通り、
1:15:40	環境条件の機能維持というところと言えば通常時定位置Gと緊密に書き分けてはいたんですけども一方で回転機器、
1:15:50	という通す。

1:15:53	そうですね。ちょっと動い。
1:15:57	出るところだけかというと基本的には動的機能の確認をもってというところの意識があったんで、
1:16:06	通常運転時とカクウやり方もできるのではないかなと考えておりました。
1:16:12	規制庁田尻です。通常運転時っていうのが、機器の通常運転っていうふうに言われているという趣旨なような気はしたんですけど、施設状態が再処理施設全体の状態を表すものが後に定期検査値っていうのもあるけど、定期検査時っていうのもその基金の話だっていうのが今の説明ですかね。
1:16:36	日本原燃沼沢はい定期検査時についてもはい回転機器の方の話をしているという意図でございます。
1:16:44	規制庁タジリです。なんで、最初にちょっと全体で表すんだったら、運転停止時とかの話になるけどここはまた、各機器についてはっていう文言を受けながら、一応書いてるので炉と同じような記載でも大丈夫というふうな整理をしているということでもいいですかね。
1:16:58	日本原燃の松橋さん、今おっしゃっていただいた通りの理解でございます。
1:17:03	はい。規制庁館です。文言できるだけ調整した方が統一した方がいいんじゃないかという気もしますが使えないわけじゃないということで一応理解しました。すいませんコサクです。
1:17:14	通らないわけじゃないんですけど実用炉もそういう趣旨で書いてるんですか。
1:17:25	はい。コサクですけど田尻の質問の趣旨としては、実用炉だと通常運転時っていう要望だったり定義されていて、そういう使い方にならないような気もしたん。
1:17:38	て聞いたんですけど。
1:17:42	日本原燃の松田です。そういう意味で言いますと、ちょうろの大きさ飯野伊東深堀は今、すいませんできていない状態なので情報収集した上で適切な記載に見直させていただきたいと思います。
1:17:57	すいません以上です。
1:17:59	はい。補足です。よろしくお願ひします。もうちょっと丸めた表現でも、そもそも
1:18:07	再処理の場合、実用炉でその定期検査時っていうと、プラン
1:18:13	ロー停止した状態においてもっていう意味合いが強くてですね。

1:18:18	一方で最初にはじゃあどういう時期に健全性を確認するということを説明する必要があるのかと。
1:18:26	いうところでほぼ、
1:18:29	定常的にあるような気もしつつ、
1:18:33	なので、
1:18:35	なんてこう書き分けるのかなっていう意味合いも考えた方がいいかと。
1:18:40	思いました。検討よろしくお願いします。
1:18:44	はい。日本原燃の松田ですはい。コメントありがとうございます。今おっしゃっていただいた観点を考慮しながら記載を適正化したいと思います。
1:18:56	市長館です。ありがとうございます多分聾啞普通に定義炉の運転の方の話でやってたような気はするんですけど、無理じゃないかなというすいません流そうとしちゃいましたあの辺とのことよろしくお願いします。
1:19:08	あと数点なんですけど、
1:19:10	当資料 122 ページ行っていただいて、
1:19:16	当安重について説明がいろいろされていく中でなんですけどあの、なんちゃってと言っていいのかわかんないですけど安重から格下げし許可で明日搬入格下げしたやつに関しては、
1:19:27	あれに関しては全部あと次回にこれは飛ばす記載になったと思えばいいんですかねちょっとその他の安全上重要な施設については次回以降に説明するというふうになってんですけど、安重から除外したやつがここで読めるのかどうかちょっとわかんなかったんですけど。
1:19:41	日本原燃の松田です。都としましては今田尻さんからおっしゃっていただいた通り、次の申請の時に説明する事項だ等整理して、その他の記載に読み込ませてる方ちいとしております。
1:19:56	市長鍛治です。
1:19:59	少なくとも安全じゃなくなってるのでその他の安全上重要な施設では読めないっていうのが一つと、安重に関して、今回の申請でどこまで言うかっていうところなんですけど、安重として対象こういうやつですよっていうのは別にその前段部分で言っていて安全の設計部分に関しては個別のやつが出てくるタイミングでやりますよっていうのを、でやってるんだと思うので、
1:20:19	別に前回まで書いてあったようにこいつらは越冬後ぐらいの多分安全本会合とかそういう形のやつがあったと思うんですけど、こちらに関してはこれこれこういう形で安重じゃないけど同じようにしますよって方針だけうたえば別に

1:20:31	何か消さなくてもよかったような気がします少なくとも今、現時点の記載だと、次回のところにそういうのが書かれることがわからないですし、何よりそれにかかる考え方みたいなやつもどこにも書いてない状態でそのタイトルだけ書かれても多分よくわからない気がするので、
1:20:48	一応1回申請に係るものっていうのを精査されてこうなったっていうのは理解はするんですけど。
1:20:53	何でもかんでも飛ばさなくても別に1回目でそれを言ってしまえば、後次回でそんなごちゃごちゃやる必要もないような気がするのでちょっとご検討いただければと思うんですよろしいですか。
1:21:03	日本原燃の岡沢です。今おっしゃっていただいた現行とかと思いますので、適切に修正させていただきます。
1:21:10	はい規制庁館ですよろしくお願ひいたします。あと最後113ページからちょっとすみません、ページ戻ってしまって恐縮なんですけど。
1:21:19	もうちょっと、どういう整理だったかっていうの確認も込みでなんですけど今健全性説明書において、
1:21:26	系統施設までの交流ってのは111ページ以降で書かれていて、ここんところにおいては、基本的にはすべての施設っていうのがすべての項目ごとの施設って述べるような形で今整理をしていて、
1:21:39	どういった構成ですよっていうのを述べるのと、その設備ってのはどういった、
1:21:44	設計になってるかっていうところも書くことになっているんだけど、個別の条文例えば閉じ込めとかそういう条文で書かれてる場合はそこを引用する形になってます。プラス個別設計として説明しなきゃいけない話として多重性であるとか共用の話に関しては、
1:22:00	個別施設のところで買うこともできるんだけど一応安全系を有する施設安全上重要な施設の条文ですかね、に関わるところが主となるので、一応ここの健全性説明書のところでも、括弧書きで共用とか多重性とかの項目を作って書いてると思えばいいんですかね。
1:22:16	日本原燃の松田です。はい。伊庭タジリさんのおっしゃっていただいた通りの考え方で作成しております。
1:22:22	規制庁館です。若干C A B R Iっていうところもあるんですけども一応健全性説明書としても説明をしなければいけない項目ということで書かれてるということですかねびっくりした。
1:22:35	と、これで一応安全機能を有する施設に絡むものは自分からは以上なんですけど先ほど共通部分でお伝えしたように、誤操作防止の部分、
1:22:43	理科室、

1:22:44	本文に関しては要は、どこの部分を受けてるのってのがわかるようにしていただくのが1点と、あと添付部分に関して言うと、94ページなんですけど、94ページのところも誤操作防止に係る設備の設計方針については計測説明書と請求書説明書ですよっていうところ、ここんところも似たような話だと思ってるので、
1:23:04	何の部分飛ばしてるのかっていうのがわかるように本文の指摘がさっきでないんですけど当然添付とか同じようなところで書かなきゃいけないところを同じように精査していただきたいと思ってるんでよろしくお願いいたします。
1:23:15	次、日本原燃の松田です。承知いたしました。
1:23:19	はい。規制庁田尻です。ああいう00に関しては自分から以上ですが規制庁側から他に何かあればお願いいたします。
1:23:28	規制庁コサクですちょっと的外れて申し訳ないんですけど今の資料で別紙4-14-2とあるんですけど、
1:23:39	4-2の方は、これ、どういう位置付けの書類なんでしたっけ。
1:23:46	日本原燃の松田です。位置付けとしましては安重の考え方がどうなるかというものを示した上で実際に安重となっている部分が、
1:23:59	具体的にどうなってるのかというところを示す数、ものでございます。
1:24:05	規制庁坂です申請書全体の中での位置付けっていうことなんですけど、
1:24:11	目次を見ると、基本方針等、施設の選定しかなくてですね。
1:24:17	これで一つの説明書で成り立つのかっていうのはいつがよくわかんなかったんですよ。
1:24:25	日本原燃の松田です。そういう意味でいうと今回は安重となるのが、冷却等々、その周りの者いかんというところで、すごい記載がシンプルになってしまっているんですけども、
1:24:39	次回を聞きましては事務としてはもっとたくさん出てくるので、この辺に関しては、機会を拡充しますし、それに合わせても9Gも、すいません。
1:24:53	今の説明で根本的に間違ってることがわかったと思う。
1:24:58	石原さん何か言いたいことありますよね、規制庁タジリです。僕じゃないんでごめんなさい。規制庁新です。そういった意味でいうと、今の説明はおかしくて、ちょっとタイトル見損ねたところがあるんですけど、
1:25:09	今の選定で書かれてるところで今122ページで言うと、選定するっていうのと、考え方等に変更がないことからっていう的認可のやつを呼び込めていて設計の話も多分読み込んでいて要は安重説明書として安重のことを後日説明するもの。

1:25:25	たまたま今回、既認可通りであるからちゅうので中身が書かれてないからわかりづらくなってるだけだとすると確かにタイトルが選定だけになってたんで、良くなかった気がするんですけど、そういう話なのかなと思ったんですけど、基本方針と選定をいっぱい書くから説明書が存在するっていう話ではなくて、
1:25:42	安全に関する説明書として存在していて、たまたま引用する形になってるんでそこが表立って見えてないだけと思ってたんすけど、ちょっと認識違いましたか。
1:25:52	ユニシアでございます。はいちょっと構成からして役割分担がちゃんとできてるかってところは、
1:26:00	おっしゃっていただいている部分の懸念はあると思います
1:26:04	個別のこと全部6か6、6シリーズ、6-1-1本程度が健全性説明書その下にぶら下がるのが安重の説明書と重大事故対設備の設計方針と、
1:26:17	可搬の話とかっていう噂があるんですけど、これまでのこの安重の説明書ってものの位置付けってものは確かにあるのか、安全機能を有する施設の健全性の全体の説明の中の一部のパートなんですけど、
1:26:30	安全上重要な施設としてその機能であったり役割は何か全体の経験の中での位置付けであったりってものを、
1:26:38	当時希望として認められるものが何なのかという設計を切り離して、説明ができると思って多分見解てると思うんですけど。
1:26:48	ちょっとまたによっては、難しい気がします健全性説明書のその系統構成の機能としての説明を昔とかに入れて説明してきてるんでその中に安生の機能も入っているはずで、
1:26:59	そういうことを考えたときに果たして1ステップ処理一つとして成立するのかどうかっていうのは、ちょっと整理が必要かと思うんです。とはいえこの時期ですけどちょっと考えさせていただいていいですか。以上です。
1:27:13	コサクですよろしく申し上げます。すいませんね今更で申し訳ないんですけど目次で話大枠の目次で話をしてる時には、ある程度構成成り立つのかなと思っていたんですけど。
1:27:27	現状の別紙4-2を見るとそれに合致しているように見えなかったんで、
1:27:31	お話をさせていただきました。で、す。さらに言うと、別紙4-1が、添付書類6の1-1-4っていう、枝番なしのものになってて、
1:27:42	そのあとに枝番がつくってということも、
1:27:46	大枠な話で言ったことと違っているんで、

1:27:49	おそらくその辺りでこんがらがってんじゃないかなと思うん
1:27:54	で、そこも含め、イシハラさん整理されるっていう理解でいいですよ ね。はい。12社でございます。ちょっと私も、今更ながら詰めて、6-1-1-4が、
1:28:05	多分普通でいくと多分表紙表紙1枚で中身を、その子供が受ける形の枝番の人が来るのかなと思っていながらもボックスがこうなってるんで、千葉さんが変わりますけど、
1:28:17	ちょっと位置付けてやる役割だったり構成だったり、少し目がないと、このままでちょっと辛いなという気がしますのでそこも含めて整理をさせていただきます。以上です。
1:28:29	はいよろしくお願いします。
1:28:43	はい。カーキ成長版から確認等ございますでしょうか。
1:28:49	よろしければ原燃側から振り返りとスケジュールについて説明をお願いします。
1:29:00	日本原燃石田です振り返りの方ですけれども、
1:29:04	冒頭最初幾つか5件6点ぐらいの内容の確認校正率とか使用料ですとかいうふうな話、確認だけありましたけれども、それを以外の修正等、修正等としまして、
1:29:16	ページ108の通常運転時、
1:29:20	統合用語の使い方にも、
1:29:24	状況も確認した上で適切に修正をいたします。
1:29:27	122ページのところの安重の格下げの話ですとかその辺のところの記載についても
1:29:36	位置付けと、確認した上で整理してし、記載のほうを修正したいと思います。
1:29:42	あと113ページ健全性説明書の話それから、今筒井先ほどありました。
1:29:48	添付と安全施設名称のところ、これの位置付けですとか、その構成のところ、あと何を書くかというところもちょっと整理した上で、ちょっと社内で調整しまして、
1:30:01	記載のほうを修正したいと思います。
1:30:03	あと
1:30:05	最後に冒頭あったのだ。
1:30:08	共通と個別の書き上げのところ、誤操作防止、そのところ、これについては本文あと添付のところのところは先の記載のところも、
1:30:19	全部併せて整理して、修正してご提出したいと思います。
1:30:24	以上の内容について、ちょっと目次の構成等もあるんですけども、

1:30:28	所、明日中には、ちょっと線の方を修正して、来社際、段階では提出したいと思っております以上です。
1:30:41	はい規制庁コサクです。すいません。先ほどの話で言いそびれたので、
1:30:47	追加で申し上げますと、改めてあれと思って
1:30:53	今、共通 08 の 370 ページを見ているんですけど、
1:30:59	6-1-1-4
1:31:03	については、表紙は安全機能を有する施設及びということになってて、健全性説明書ですね。
1:31:10	でその内数として、安全上重要な施設、
1:31:15	の説明書と重大事故等対象設備、
1:31:19	説明書と、
1:31:25	説明書前のところ設計方針って言葉になっちゃってますけど、
1:31:31	に可搬地震と規定となっていてですね。
1:31:36	今の私が混乱したのん網でわかるように、
1:31:42	DBと衛星でも、項目名違ってるとかかっていうので非常に整合とれてなかったり、今大本も下げたかったのは、
1:31:52	大枠としては安全機能を有する施設なのに、ぶら下がるのは安重しかなくて、安重以外の安全機能を有する施設についての説明がないと。
1:32:02	いうところなのはよくないかなっていう、
1:32:06	思っ
1:32:07	ていますので、先ほどの整理をする際にあわせて対応いただける
1:32:14	はい。メディアでございます。はい。今見ていただいた分を私もさっき見ながら会話をさせていただいてますこの1-1-4、502。
1:32:24	これ多分普通でいくと、日吉になって、その下に、ああいう電気の流水施設の話があって、重大事故対設備の話があって、
1:32:36	私の見解その中に安重がいるんだろうということで、ただそれぞれの役割であったり項目としての成立性というのはちょっと整理をした上で、
1:32:48	お示しをしたいと思います。以上です。
1:32:52	はい、古作ですよろしく申し上げます具体的には案いうで全体を説明いただいておりますので、それが
1:33:01	いつが変わるってということになるのかなと思ってますけどよろしく願います。以上です。
1:33:10	規制庁シミズほか、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:33:18	よろしければ全体を通して、規制庁が原燃側よろしいでしょうか。
1:33:29	はい。日本原燃の特にございます。ありがとうございます。はい。それではこれで午前中のヒアリングを終了したいと思いますので、

1:33:37	本停止します。
0:00:00	お伺いしました。
0:00:03	はい、原子力規制庁の館です。それでは日本原燃 6 ヶ所再処理施設に係る設工認に関する審査ヒアリングを開始したいと思います。本日は 11 月 22 日と 20 日本日提出された資料に基づき、審査ヒアリングしたいと思います。
0:00:17	規制庁側の出席者ですが本庁側からオオカ W e b からの参加で古作調査官カミデタジリとなっています。原燃の方から出席者と仕様等について説明をお願いします。すいません。なお本日も 0 高に関する音声録音でヒアリング実施いたしますので、
0:00:31	発動される際は名前言っていただくとともに、
0:00:34	非公開情報等のは、発言はしないように気をつけていただければと思います。それでは現場をお願いします。
0:00:41	はい、全漁連中浜でございます。
0:00:44	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:48	サトウタカハシセガワシミズ。
0:00:52	エビナはサカモリ。
0:00:56	なんか、イシハラオカザキナカハマ。
0:01:00	あと三菱重工様よりサトウ様、滝様。
0:01:05	以上となります。
0:01:06	本日ご確認いただきます。資料でございますけれども、解消のうち、竜巻と火山になります。
0:01:14	竜巻につきましては個別補足説明資料でございますが、竜巻の 16、5 回竜巻 0001 及び火山 00-01。
0:01:27	国いただきます。それでん所、竜巻の 16 から滝です。可能であれば、累計の話だと 00 シリーズからの説明をしていただいた方がこちらとしては助かるんですけどそれでも対応可能ですか。
0:01:43	すいません。日本原燃の蝦名です。ちょっと出席者の都合です。ちょっとメーカーさんの方が前半部分しか入れないのでできれば 10 億の方から説明させていただきたいんですがどうでしょうか。
0:01:56	ありました事情があるんだったらそれで O K ですじゃあとりあえず外田巻 16 をお願いします。
0:02:07	日本原燃のサカモリでございます。曾田都築 10 億の方でちょっとご説明をさせていただきたいと思います。
0:02:14	はい佐渡龍盛 6 でございますけれども B o y た全体の設計の流れと、設計の最後、考慮事項配慮事項ですね。

0:02:23	それらを踏まえた評価をどうするかといった流れがちょっと明確になるように資料を修正して参りました。ちょっとすいません資料全体構成としてせ、直契約ない。
0:02:34	押しきれてないところがあると思っておりますのでその辺は修正したいと考えております。では中身もこう入っていきたいと思います。今回資料修正した箇所は 77 ページ以降となります。
0:02:47	この中でですね防護板の支持部がですね衝突解析を二つの観点から設計してございます。一つ目が衝突直後、四つ目が防護板の変形が進展したとき、
0:03:00	一つ目が小規模の一つ目の観点が、81 ページの方に、
0:03:07	イメージ図をご承知させていただいておりますが、衝突直後というのはですねボールペンのせん断力が作用いたします。この時支持部にはですね、一部にはですね、せん断力の反力として引抜き荷重が入ります。
0:03:21	この時のヒッピー普及がですねボルトには支配的となります。一方、二つ目の関係、こういう他の変形が進展してた、したときですねこちらは 83 ページの方に、
0:03:34	イメージ図をお示しさせていただいておりますが、もうデータはどんどん変更していくことで防具土肥荷重が発生します。取付ボルトがですねその防護板の日
0:03:45	次を受けてせん断が入りますのでこちらのせん断が支配的になってきます。
0:03:52	二つの観点で取付ボルトを設計しております、上 3 月号の設計結果編は 85 ページの表にお示しさせていただいております。
0:04:02	見ていただいたわかりますようにですとボルト目線数が一番わかりやすいかと思いますが二つ目の関係の方が非常にフォルトの設計が厳しいということになりますので、
0:04:13	こちらの方にすいませんこちらの方、評価をする対象というふうに考えてございます。で、二つ目の関係で評価をするときはですね、防護板の変形量の資料では対応といった言葉を使っておりますが、
0:04:28	こちらが大きいほうが、ボールド左右するせん断力が大きくなりますので、変形量大きい防護板を解析対象として選定することとなります。この際、NPDのた井戸ですね、はB種大きさや剛性といったものを考慮し選定する、することとなります。基本的には、
0:04:47	防護板のサイズは大きいものが選定されることになるかと思いますがけれども、そういった観点で選んだときの結果を整理したものが、気中、それから、

0:04:58	アンダートップング協会杉下の状況で、見やすさというところを修正させていただいておりますので、この結果選んだものが、今、添付書類です。ね、に、次今年載せていたの関本になります。
0:05:12	あと前回のヒアリングです。ヒアリングですね上流文書と整合を図って添付書類の修正をする必要があるといったこともちょっとご指摘いただきました。
0:05:22	こちらはですねやっぱり 20 日ですかね、00
0:05:28	移らせていただいているんですけどもちょっと申し、のめり込むってのはですね申し訳ございません。ただちょっとペーパー等でご説明させていただきますと
0:05:37	冒頭にご説明させていただいた 77 ページのような設計法ですねこちらを本日提出した曾田津野入ります。
0:05:49	キャップ
0:05:50	71 ページぐらい。
0:05:53	同じページですね。
0:05:56	こちらに、竜巻防護対策設備の設計方針という項目を今回、
0:06:02	新野さんに作っておりますのでこの辺に入れ込んでいきたいと考えております。また解析対象とするボール板の選定の考え方です。こちらが 232 ページ。
0:06:18	樁防護対策の強度計算の方針書の方になりますけれども、今現在 432 ページの真ん中の両括弧 2、
0:06:28	考え方をメディカル D 内容でこの辺に盛り込んでいく必要があるというふうに考えております。簡単ですは以上となります。
0:06:40	規制庁の田尻です。まず添付の話もしたいところなんですけどすみません。何か大分ざっくりと説明で普段だったら構わないんですけどすみません営業部で言うと前日とかにて人事評価、今日提出されたようなやつなんで読みきれてないのでもう少しちょっと詳しい上に聞いていきたいところなんですけど。
0:06:57	とりあえず先ほどおっしゃられたような話で結局代表選手の話とかもされたんですけど、多分その前提になってるのって何か等間隔でぶつかるとかそういう話が書かれていてで、今回
0:07:10	基本的には 1 ヶ所につきボルト 8 本止めるであるとか場所によってはブロックを止めるとかいろいろ考え方追加されてるような気がするんですけど 78 とかそういうところいろんなとこ追記されてると思うんですけどそこだけの説明不要っていう整理でしたっけ。

0:07:24	日本原燃のサカモリでございますすみませんそうです。本日ちょっとご提出させていただいたというのを踏まえると、もうちょっと詳しくご説明をする必要だったかなと今考えております。
0:07:36	先ほど、赤木李さんがおっしゃった例えば支持間隔の考え方なんかはですね、
0:07:46	桐生郡司です。
0:07:50	ただ、84ページの評価式も含めてご提示させていただいております、1坪当たり8本6本でちょっと設置間隔が変わるので、そういうところを、
0:08:05	具体的に評価式を用いてこれからお示しさせていただいて、
0:08:10	おります。具体的にもうちょっとご説明させていただくとこの支持間隔ですけれども防護板の競争力を用いてですね、
0:08:21	猪狩フォーラム戦乱を算出したしましてその上何て言うかね発生応力に対してボルト八本に耐えるようにする支持間隔、すみません。
0:08:33	84ページをちょっと見ていただいたら一番わかりやすいですかね。
0:08:39	ここの図、第2-24図の右側にですねB支持部感覚っていうのがあるかと思えます。この支持部間隔を、板野降伏応力と、ボルト八本の耐力を比較して算出するというのを、
0:08:54	して決定してございます。次にボルトは、の考え方を、
0:09:04	すみません。
0:09:15	宮野サカモリ須沢さん。
0:09:18	これちょっと疑問。
0:09:20	一つ一つ解決したほうがいいような気がしたんで今のお話を途中のところにあるもともとの学校のところの付け方とか参考品とか後で食うので、ちょっとまた後で聞きますけどいくつか付けさせてください
0:09:31	今回資料が提出されてで、
0:09:34	基本的に考えなきゃいけないのは瞬間的に一番最初ぶつかった時のボルトの引っ張りの反力の話とあと、そのあと変形生じた時に発生してるせん断の話ですという話されていて、
0:09:44	ちょっとすみません資料のページがぱっと出なくて恐縮なんですけど、85ページですねこれ85ページで言いたいのは、結局引っ張りの活用のところも考慮することに当然なるんだけど、ボルト本数とか結局かかる荷重の大きさとか考えると、
0:09:58	結局反力として生じる引っ張りの話よりも、とりあえずせん断が代表テストで評価すべきものなんですっていうのを決めましたってのはこの辺りですかねまず。

0:10:08	日本原燃のサカモリでございますし、さっき赤木さんがおっしゃっていただいた、その通りでございますもう大分変形の方から伝わるファンド国等設計が決まっていくということをお示しさせていただいております。以上です。
0:10:24	規制庁館です。その時結局とりあえず結果的に引張よりもせん断厳しくなるんだと思うんでその話さっき進ませていただきますけど、仙台になったときなんですけど、まだ少し話出たと思うんですけど、
0:10:38	ボールドの話にいきなり飛んでっはいるんですけど防護板自体っていうのはVよりも評価厳しくならないっていうのはこれは確認できてると思っているんですけど。
0:10:53	趣旨は要はボルトを止めてるところが8ヶ所ぐらい、まとめて止めたりしてるので、要は面で留めてるような形になってると思っていて、その面で止めてる部分で結局板拘束されてるんじゃないかなっていう気がするんですけどちょっとその後ろの方の図面見ると、
0:11:10	何か板が浮いたような組み立てが斜めになってるような形なんでそこまでじゃないですよと説明されようとしてるのかとかちょっとわからなかったんでそのあたりをまず先に確認して、要はボルトの話に、まずいっていいかっていうところを確認したいんですけど。
0:11:22	はい。日本原燃のサカモリでございます。ボルト取り付けから板の方が破断がしないことをどうやって確認しているのかという、ご趣旨かと思えますそちらの方はですね、
0:11:35	78ページの方になります。下から二つ目、今回ちょっとはしがきっていう言葉をちょっと使わせていただいているんですけどもそちらの方が、
0:11:46	ボルト強度より上回るように橋脇寸法要するにボルトカー戸井田橋までの距離ですね、そちらが長くなるように設計するといったような配慮をしているということになります以上です。
0:12:00	規制庁館です。定説にやろうとしてるっていう考え方はわかるんですけどここっていうのは、何かどこかで具体的に何か定量的に示されてるものでしたっけそういうふうにしますという宣言だけが書かれてってわかるもんなんですって。
0:12:16	日本原燃のサカモリでございますとは白木に対する具体的な
0:12:21	結果というのは今の資料ですいません、落ちていないのが現状でございます。以上です。
0:12:27	規制庁館です。なんであの確保するっていうことは、多分評価してんだと思うんですよ。なんで評価して、これ以上のやつを確保すれば、結局

	厳しくなるのはボルト別っていうなんか整理をされてるんだと思うんですけど。
0:12:37	それが六法んどめの時と八本止める時で違うのかとかいろいろ情報がないと、この言葉だけで、要は宣言して大丈夫なようにしますよっていうふうに言っていたらと思うので、
0:12:47	いつものことながら根拠がないとそうですねというふうにも言えないものだと思うのでその点をよろしくお願ひしますなんすけど、口頭で補足できたらお願ひします。
0:13:04	市長長間瀬さんちょっと。
0:13:06	データはありますけどちょっと今、平木は開くのちょっと、
0:13:09	待ってください。データ。
0:13:12	近くでちょっと、
0:13:21	日本原燃のサカモリでございます当然設計した結果というのがございますので、ちょっと調べるように時間かかりそうなのでまたそれ数値がお示しさせていただきたいと思ひますびたっと数字が出てくるはずなので、
0:13:34	これ以上確保するといったようなですね。はい。以上です。
0:13:38	青木と館です数値は最終的に結果として出していただきたいんですけど、どういう考え方で確認したかっていう考え方を教えて欲しいって言って、
0:13:46	数値はなんか 10 に対して 11 でしたって言われてもそれじゃあ話にならなくて、どういう考え方で 10 あればいっていうのを出してて結果方でしたっていうのを言ってもらわないと無理なので後でそこも含めて説明してください。
0:14:00	三菱重工の赤木です。考え方をまずちょっとご説明させていただきます。まず柱としましては、ボルトの破断強度、ございますのでその強度よりも、
0:14:12	穴、
0:14:13	フォルダーの穴から板野橋までの距離をせん断の強度、上回るような式距離を算出してそれ以上の距離を確保するような位置にボルトを設けるといところを配慮してございます。
0:14:26	今、6 分か八本かっていうところの違いはというふうに、
0:14:30	お問い合わせありましたので、このところにつきましては、このボルトの本数、そのボルトのピッチのところに関わってきますけれども、そこにつきましては、継ぎ手のいわゆる、

0:14:39	構造物の継ぎ手の標準対ピッチとございますのでその辺に準拠しながら、用意してございますので、例えば十分配慮した、
0:14:47	本当のピット部と配置になってございます。以上です。
0:14:52	静聴タジリです。あとすいません一遍自分もなんか、すれ違った話をしてしまった気がするんですけど右下 84 ページのときなんですけど、取付ボルトのせん断の話が書かれてる中で多分縁がいただと思うんですけど、委託と固定部で接してる部分があると思うんですけど、ここに荷重かかってここをやられないのかとかっていうところも込みで教えていただきたいんですけど今おっしゃられたのは、
0:15:13	要はV7としたところから、板野元での距離が一定程度確保できるからそこから千田は、せん断でうたわれてることないですよという説明だったと思うんですけど。
0:15:24	今さっき言ったのは、支持架構があってその部分に板抜けて、板が接してる部分があると思うんですけどここにも荷重がかかってると思うんですけどそういったところも含めて見た上で一番厳しいのがボルトであるとか、
0:15:35	この部分である程度整理をしているということではよかったですかね。
0:15:39	三菱常和%技術ご認識の通りでございまして、今ちょっと、
0:15:43	図のところにも示してございますけれども、支持学校の支持部材の方もかなり動いた等に比べても十分分厚い設計としてございますので、本店、
0:15:54	アラー、老田の方、僕の方でピッチを設けて確保できていれば、中学校の方はもっと強度の強い位置になって強度になってございます。以上です。
0:16:04	規制庁タジリすいません言ってるのはインターの緑色部分が支持学校と接してる部分があると思っていて、変形等の荷重で、当然ボルトに引っ張りだろうが剪断だろうがかかるとは思うんですけど、
0:16:17	中心部が変形してるんだから荷重かかってるところで要は、四肢地点で借りてって言えばいいのかわかんないんですけど支持学校の下部に接している板部自体に影響を受けないのかっていうのを聞いてみたんですけど。
0:16:34	少々お待ちください。
0:16:42	一条高城です。申し訳ございません。衛藤説明としましては、
0:16:47	ボルトにつきましてはこの荷重を、0、No8点とか6分とかで、負担するということに対して今ご指摘あった。

0:16:57	支持架構の支持部のところにつきましては、寸という場面というか、そこで荷重を負担するということをございますので、
0:17:05	厳しいというふうに、
0:17:07	なります。以上です。すいませんコサクです。
0:17:11	高木さんちょっと状況がこちらの素朴な疑問がわかっていただけてないと思うんですけど。
0:17:18	ルーの、
0:17:20	支持学校の
0:17:23	左上、
0:17:26	の角。
0:17:28	に防護板っていうのは当たりますよね。
0:17:32	実際はV字めしているんで、
0:17:38	大角、今せん断耐力言ってますけど引っ張りもかかっている、若干浮き上がるというように絵が書いてあってですね。
0:17:46	そうするとその浮き上がりの視点としては、先ほどの支持架構の左上のところが視点になって、ここに応力集中するのじゃないかと。
0:17:56	それによってこの分はこの場所で防護板がちいれるってことないですかってことです。
0:18:17	三菱重工佐藤ですすみません。
0:18:21	今おっしゃられた内容なんですけど、この絵の通りなんですけど、まず可動部、支持架構の左上の可動部がこの緑の5番のところに当たる形になりますと、
0:18:32	5番に飛来物が当たってますんで、大判自体は、左下に引っ張られるような形になって、その中学校の角が立ったところに、
0:18:43	曲げと、左側に引っ張られたような、
0:18:47	荷重が生じる形になります。その荷重自身は実際にボルトと荷重がかかる武器が違うんですけども、
0:18:57	マボルトそのものが8本で止めて非常にボルト自身のちょうどある程度あるんですけども、この防護盤そのものの、
0:19:08	断面積っていったらいい。かいうたらちょっとおかしいかもしれません奥行き方向の強度を担う面積。
0:19:18	ていうのがVに比べて非常に大きいということから、そこの曲げなり引っ張り、もしくはせん断みたいな荷重に対しては、Vよりも十分5型構成が高いと。

0:19:28	ということから、Vの方で代表して評価できるという設計の考え方になっていて、かつ、結果、もちろん解析的にも確認をされていてそこが壊れたということは確認できていると、そういうこと形になります。
0:19:44	ご質問の趣旨に合ってますでしょうか。
0:19:49	古作です。ある程度合ってると思うんですけど、その入口で、ちょっとここ、すいません専門用語でわからなかった。
0:19:59	けど、
0:20:00	根井橋躍起強度って言うんですけど。
0:20:04	それってどういうものってということなんですけど今言われた
0:20:09	動いたの断面積ってこと。
0:20:13	ですかねちょっと正しくないけど、
0:20:17	断面席に材料強度を掛けたものが、
0:20:21	言われてることですか。
0:20:23	五味三菱重工佐藤です。今、私の方から説明申し上げたのは、このAとC加工の左サッシの角が当たったところの話をしていて、
0:20:35	一方は白木というのはですねそのボール等から、向かって右側の絵と緑部材のところ、
0:20:44	がありましてこの緑の部材の横方向の長さが短いとルートが切れる前に、この緑の部材の方が消えてしまうケースがあるんですねそのボルトのところを規定して、コサクです。わかりました。はい。抜けちゃうということなんです。
0:21:00	はい。なんでそうならないようにボルトが一番弱くするように設計すると、そういうことになります。はい。
0:21:05	コサクです。そうした橋空き寸法っていうのは、このボルト、
0:21:11	-1から右側の
0:21:14	集まれと。
0:21:15	ということですね。三菱重工サトウでその通りです。はい。そっちの話と先ほど言われたのはこの紙面の奥方向の、
0:21:26	距離があって、
0:21:28	ていうことだと思うんですけど。
0:21:30	それについての説明がいまいらないような気がするんですけどどこが書かれてます。
0:21:37	三菱重工佐藤でございます。通称ごめんなさいV設計するときには、壊れるのこの柱書きの方が弱いということに対して悪影響を与えるというのが一般に、

0:21:49	構造設計としてあったので先ほど私申し上げた部分のところについては、ちょっとごめんなさい思い込みと言ってしまったら言い過ぎかもしれないんですけどちょっと、
0:21:59	大丈夫だということで特にこの設計を意図して、この説明の中に入れてなかったでは白木の方にしか書いてないというのが事実ですね。はい。以上です。
0:22:13	かっこついてるね。
0:22:15	先ほど申し上げた説明はここに追加することは可能なので、こういうこの絵の中でこの部分にこういう荷重がかかるけれども設計上は大丈夫であるっていうのをちょっとわかるような文章をちょっと追記させていただこうと思います。
0:22:30	以上です。
0:22:32	はい、そうです。文章をまず書いていただいた上で、計算書としてどこまで書いてもらうのがいいかなっていうのをちょっと今、悶々と考えて、
0:22:43	いてですね。
0:22:46	今言われたところでいうと少なくとも柱、
0:22:49	キー寸法強度は、
0:22:52	強度あれば、少なくとも橋空き寸法は書かれる。
0:22:58	ですかね。
0:23:09	三菱重工佐藤でございます。現状は入っていないのでちょっとこれは書かないといけないですね、書くようにしたいとちょっとどこに書くかは、
0:23:22	もう1回相談します。すいません。以上です。
0:23:25	はい、古作です。検討よろしく申し上げます。で、もう一方の話は今、この移されてる画面だとBで支持部間隔があって、
0:23:35	材料強度はそれぞれで出ていることからすると、
0:23:40	板集まってなので、
0:23:43	情報が出てて、
0:23:44	確かめ山を間内直接書くか、
0:23:48	当然でしょって思うかっていうことかなと思います。
0:23:52	が、あれですかね。
0:23:55	当然の範囲と、設計側としては持ってるってことですかね。
0:24:01	三菱重工佐藤です当然の範囲かなと思って書いておりませんでした。以上です。

0:24:07	はい。コサクです。そうであればまずはその補足で、当然っていうのを示していただいて、
0:24:14	添付でも開かない。
0:24:16	でもいいでしょというようにところを示してもらったらいいかと思います。
0:24:21	立石さん 1 回戻します。
0:24:24	はい、白鳥先生ありがとうございます。
0:24:27	で、
0:24:28	ちょっと今の話はまずは当たり前に当たり前という話残して、言っていた上で、普通に設計すればそういうのを担保する形になってるっていうんだったらそういうことまで含めて整理していただければいいと思ってるんですけど。
0:24:40	ちょっとすいません頭に戻って恐縮なんすけど 77 ページからフローが書かれていて 78 ページから設計が変えていく形になってると思うんですけど、
0:24:48	今 78 ページいった時に
0:24:51	ちょっとここに書かれてるものの位置付けもちょっと後でお聞きしたいんですけど、とりあえず 2 点で止めますようであるとか、1 ヶ所につき八本を基本にしますよとかそういったものが書かれてたり、必要に応じて本数確保できなきゃボールドサイズを変えますよとか、先ほどは早く先方の話が書かれていたり、
0:25:07	ていうのがで、かつ内側に改善しないようには 2 ヶ所でも大丈夫なんですすが取り付けますよとかっていう話が書かれているんですけど。
0:25:15	ここに書かれてる話が先ほど添付の話をされたときに、何かフローの話だけメインでされた気がするんですけど、設計方針として担保する内容っていうのはどれですかねここに書かれてるような内容が担保されるんですかね。
0:25:31	成長で設計方針では基本設計方針って意味じゃなくて添付ぐらいに書かれてる内容ってどれですかっていう意味です。
0:25:41	日本原燃のサカモリでございます。すいません。現状添付にはちょっとまだこれ、盛り込めてないっていうのがまず実態でございます。それを踏まえてこれから何を記載するのか、といってお話になってくるのかな。そこ。
0:25:55	今言ってくれた何を記載するかというお話になっておりますが、まず先ほど出た話がきの話は当然上がると思っております。あと一番数が、まず先

	ほど話の話で、まず扉のような体験をしないように板を設置するというのも当然担保事項になると思いますのでそういう
0:26:13	例を書く必要があるかと思っています。国体本数間隔ですかねちょっとこの辺が、ちょっとまだ具体的な制度ができてなくて申し訳ないけど、記載として必要かなと今現状考えております。以上です。
0:26:27	はい。規制庁館です。今言っていたように、設計の別の考え方となるもの要はそれを担保しないという設計上危なくなったら変えてくれよというのがまず一つなんですけど、例えばここで取り付けボードサイズを大きくするみたいな話書かれてるんですけど、後ろのところで表出てきたときは、
0:26:44	もう 24 とかでですね何かどっかでもボール等の形はあまり統一的にこれだみたいな雰囲気になったりしたと思うんですけど、ここらのパラメーターも変わり得るんでしたっけ場所によってボルトの径とかも違う、何か上げる。
0:26:57	285 ページのところで、では今 40 分の間カクウで 6 分駄目なときは子供の時で違うんですよちゅう話と V 系とかが書かれてる形になってるんですけど、これ後ろの方へ行くと結局、代表的にドイツで見たんでしたっけっていう時の整理にもこいつが絡んできてるとは思ってるんですけど、ここだってどどそれぞれが、
0:27:14	何を担保されてる形になるんでしたっけ再最終的に。
0:27:22	すいません日本原燃の阪本でございます。ちょっとそういった意味ではすいませんちょっと記載が、受けているのかなあと思っております 85 ページ、一井ですね文書でこの表のちょっと上になお書きちょっと書かせてもらってるんですけども、
0:27:37	4B 竜巻対策でもですね M30 とかいう 33 といった取付ボルトを使用している箇所がございますので、申し訳ございませんそういった第 2-4 表にも記載が必要だなあというふうには、
0:27:52	加えてございます以上です。
0:27:56	規制庁館です。今言われたように上の 5m30 とかの話があって結局後ろの方で表とかが出てきて丸ナンバーとかっていうのが五、六書いてあってこの中でこいつが代表なんですよっていうのが書かれてるんですけどそのタイミングになると、結局田宮さんの話だけが書かれる形になっていて、
0:28:15	データ表となる防護板これですと 1ヶ所に丸がつけられてるような形に確かなっていて、何かまいちどうやって代表、代表っていう言葉がいいのかよくわかんないですけど、

0:28:26	なんか、ドイツの評価を示したらオッケーですよってのが前までお聞きしてたやつだと等間隔なんで一番劣化や示せばいいんですよっていう雰囲気ではあったんですけど、今この時点になるとボルトの径の話も違いそうだし、
0:28:39	支持部の間隔の話も6分止の八本駄目で、結局6分の八本でも同じぐらいに耐えられるように、価格調整してるからどっちでもいいんですよって説明をされたいんだと思うんですけど、
0:28:49	それは多分計算式上の話であって、でも計算式上だけで済むんだったら解析を御社してないような気もしていて、解析上で、ドイツが代表っていうのもあってるのかどうかとか、何か全体としてよくわからない。何かネタがたくさんそれぞれ散らばってるんですけど、
0:29:04	この辺りっていうのは結局、どう説明されたいんでしたっけ。
0:29:18	少々お待ちください。
0:29:32	日本原燃のサカモリでございます。
0:29:35	ちょっとすみません説明不足してたら申し訳ございません。まず僕テキサス曾谷さんのご指摘は結局解析対象とする防護板は、
0:29:45	主眼に置いて選定したらいいのかちょっといろんな情報が出てきてちょっと整理がなされていないというお話だと思っております。B先ほどからV系とかちょっとそこまでは出てきてるんですけどまずV系2430m33あるんですけども、
0:30:00	結局ですね
0:30:02	24ページで言うところの、
0:30:06	取付ボルトの開架中のところが犬20冒頭になるように、M30とか33の方数とかを強制したりしますので、まずV系は代表選定においては考慮する必要はないかなというふうに考えてございます。
0:30:22	一方先ほど、おる専門リーダーの大きさというお話があったかと思いますが、あれはその防護板の基礎が主に選ぶ手段になると思っておりましてその大きさを選ぶ上で、
0:30:34	一番この87ページですねここに示すような今回た見やすさという表現をちょっとさせていただいてるんですけども、一番わかりやすい板がどれなんだっていうのを、
0:30:45	選ぶべきだというふうに考えています。以上です。
0:30:50	清城タジリです。今のお話だと、結局設計方針としてボルトの間隔であるとか、本数であるとか、形とかをそれぞれ考慮した上で、
0:31:01	それぞれが耐えられるレベルっていうのを同じにしようとしてるんですけどから結局きいてくるパラメーターというの板野で笠間田宮っていう形

	で書かれていますけどここなんですって話なんだと思うんですけど、そういう考え方っていうのがどっかに書かれてるんでちょっとその辺見切れてないだけの可能性があるで申し訳ないんです。
0:31:28	慶長館です。ちなみに 82 ページとかを今何となく見てってわいたんですけど、ここで多分ボルト本数とかの話は述べられてると思うんですけど、今のお話だと結局ボルトの径の話であるとか、そこらも全部ひっくるめて、
0:31:43	代表とか全部同じような評価になるように持ってってるんですよっていうことを言われてる気がするんですけど、ここで言い切ってるっちゃうことですかね。
0:31:53	日本原燃のサカモリでございます。
0:31:56	結論として書いてない、思ってますそういったボールの配慮事項ですねこのは、資料で 86 ページの両括弧及び評価対象の選定という項目はあるんですけども、
0:32:11	やっぱりここでそのボルトのボルトをどう作業してるんだっていうのは書いてしかるべきかと思っておりますそれがちょっと今現状書けていないので、逆にちょっとボールドのお話を、
0:32:22	見る必要があるのかなと今考えております以上です。
0:32:28	規制庁田尻です。ある程度仕方ないんですけど多分ここはほそ食うで、何か議論をまずメインでやっていこうとするからまた話がややこしくなってる気がするんですけど、結局本文はある程度固まったもんだとして、それを踏まえた添付として何まで書かなきゃいけないかってのが要は結局、
0:32:44	重要なパラメーターや設計の内容として担保しなきゃいけないところはどこですかっていうのが、何かたくさん文章書かれ過ぎて逆にわかりづらくなってる気がしていて、普通だと添付でそういったものが書かれていて、これの具体って何つついたら補足を見に行ったら言葉が上流れていてそうだよっていう形になる形だと思うんですけど。
0:33:03	今結局ここに書かれてる内容のうち、何を約束していただけるのかがわかりづらくなってで、ブルーの話もここでボルト本数の方が主体的であるっていう。
0:33:13	いうふうに書かれてるのはわかるんですけど、途中でV系の話をしたりっていう形になってるので、聞く内容というのはこいつであるっていうんだったらそういうふうにも宣言していただければいいと思ってるんですけど。
0:33:24	すいません。

0:33:26	結局最後表とかで示されるところに書かれてる話と、文章で書かれてる花Cの内容があまり整合してないような気がしていて、一応今、文章の中で、必要なものはこれであるって宣言したものを表に書かれた形にしたいんだと思うんですけど。
0:33:41	できればそこがちゃんと繋がるように書いていただければと思うんですけど、趣旨はわかりますか。
0:33:53	日本原燃のサカモリでございます。ちょっと言い方がちょっと、どうかどうかわからないんですけどちょっと整合がとれていないというご指摘かなとちょっと思ってます文書では書いてあるだけけれどもそれが、
0:34:07	表になってなかったりとか多分逆に表にあるけど文書で記載が足りてないとかですね、そういうことが今起きてるといふ、
0:34:16	話かなと思っておりますで確かにそう言われるとそうなってるような気もしてまして、ちょっと再度資料全体を、
0:34:25	直して盛り込むものは盛り込む必要があるかなとちょっと思っております以上です。
0:34:32	はい。規制庁田井です。なので先ほど少しお伝えしたんですけど、添付として何を書くか。
0:34:39	ちょっと喉が変中であって、店舗として何を書くかっていうところだと思うんですが先ほどのV系とかの話に関しても、要は系とかスパンとか本数とかを調整して、同じような形にするんです。同じような荷重がかかり、同じような荷重って言ったら、一本一本の限界値が同じような形になるようにするんですっていうんだったら、
0:34:57	そこがまず宣言される形になっていてそれ具体って何って言ったら別に補足とかに具体、考え方の値、実際の値とか並んでるっていうんだったらまだわかるんですけど、
0:35:08	前段としてまず方針みたいなものを述べていただいた上で具体を並べていただくと多分頭に入りやすいかなと思うんでその点を考慮いただけると助かります。
0:35:19	はい、日本原燃のサカモリでございますきちんと結論というかエッセンスがちゃんと、添付書類に上がるようにちょっともう一度見直したいと思います。以上です。
0:35:32	はい。規制庁田尻です。その上で一応、それで代表が選ばれたとしてたんですけど、先ほどから話してて6分止めとか八本とめとかの話っていうのは、

0:35:43	解析上は計算上は同じになるようにされてるんだと思うんですけど、解析上でも遡行はどれやっても変わらないっていう考え方でよかったんですけど。
0:36:03	バック日本原燃のサカモリです少々お待ちください。
0:36:20	三菱の高城でございます。衛藤。
0:36:24	今6本であったり8本、
0:36:26	やっぱり本数がちょっととりあえず時にサイズアップするっていうところは、強度を、大体同等になるように配置してございますので、設計上も、そして解析上の対応としても、同じような体力が、各
0:36:40	出るような、LとNで体力として、そういう入力して、はい、そうですね、強度になるような入力としてございます。
0:36:52	はい。規制庁館です入力は同じにされるのは認識した上で実際の計算でいうんだったらそれは普通の数字として出ると思ってるんですけど、解析上においても、
0:37:02	どのパターン試してもそこまでです。要は解析聞いて結局どういうふうになタ入れたり条件入れるかって話になると思ってるんですけど。
0:37:11	要は
0:37:13	どれやっても同じだっていう見積もりはもうある程度解析の考え方変えられているので、その上でこいつを選びましたとかそういうことになってるでいいんですよ
0:37:22	結局開析度0床で実はこう切れてみると事実上計算上は同じようなものになるはずだったんだけど、解析上こっちが厳しかったんですけどっていうのがあり得るかどうかっていうのを聞きたいってのが趣旨なんですけど。
0:37:35	三菱重工高城でございます。今解析上もですねモデルとしてばねで断面積と強度という形でパラメータ入れてございますので、それがほぼ等価になるような、
0:37:45	設計としてございますので解析上も、
0:37:48	とかになると、いうふうに、
0:37:50	10日になります。
0:37:52	以上です。ですので計算条件としてだ、式に入れるようなものをすべからく解析条件としてしっかり入れてる形になってるので、多少の誤差等あるかもしれないけどそんなに差は出ないので、結局板野大草とかそういうので代表最後選んでますよとかっていう形ですかね。
0:38:11	三菱庄田です5日の藤でございます。
0:38:16	はい規制庁タジリです。

0:38:20	ちょっと待ってくれ
0:38:23	藤今野解析の花Cに関しても結局その前段部分でいろんな条件設定がありますよみたいな話が出てきてると、じゃあ結局これ何でやったの、何でこいつを選んだのって話に繋がりがづらくなってしまいますので、
0:38:36	そこのつなぎの考え方もこれ補足資料レベルでいいと思うんですけど書いていただければと思うのでよろしくお願ひしますというのと、
0:38:43	あと、
0:38:47	次皆さん 87 ページのところでなんですけど、
0:38:54	ここで抱えてる結局目安だって板野大木さあでよかったでしたっけ何か今まで示した、してたものよりも、補足だからちょっと数をふやされたような気はしているんですけど。
0:39:09	三菱重工の高木でございます。えっとですね文章の方に少し書いてございますけれどもた三朝というパラメーターとしまして、えっとですね。
0:39:18	相場。
0:39:23	有賀もちろんこっち、 $L - 3 \text{ 乗 } o r$ ある分の $L 3 \text{ 乗}$ という形で、
0:39:30	フォルダを、例えば西井でいきますと、これの支持部から中央までの距離が $L$ として、けどそれを 3 汗
0:39:38	遺伝子でいきますと 7 時間、終わるとしましてそれを三条といたしまして、
0:39:43	25 名と。
0:39:45	田宮さんが
0:39:47	ありますので、その二つを刻んで、他にいらっしゃるというパラメータを算出して整理してございます。以上です。
0:39:55	規制庁田尻です。なんで取りつけ方が同じだったら結局指示スパンで決めてるってことですね。駄目にポーンと違うやつとかまじってたりするんですけど。
0:40:07	そうですね某方によっては補強の有無が違ったりしますのでその辺を整理して、この監査という観点で整理してございます。
0:40:15	三菱の高井ですいません。以上です。
0:40:18	規制庁加地です何か補強の部分も含めてってことですね。
0:40:22	その場合、ここに書かれている衛藤谷津ぐらひは書かれる形になってると思うんですけど、こいつらっていうのはどういう考え方でこのやつが書かれたんですけど。
0:40:32	とか、衛藤古川にも候補がいる中でこいつが選ばれたのかある程度、
0:40:37	要は全く同じも能があとは並ぶ形になるのもうこいつしか書けばいいんですけど話なのかというところでしたっけ。

0:40:45	三菱芝田でございます。一般防護板の
0:40:49	家族ございましてそれをタイプ2、
0:40:52	大きく分けてございますこれが今、
0:40:55	今、87重油
0:40:59	ベース。
0:41:09	大分の構造と書いてますけれども、70ページの方ですねここに、こういうタイプの一覧ということで、ご披露し整理をしております。その整理、
0:41:19	の中で、そのいっぺん指示2年指示あと飛来物の衝突速度っていう区分けをしまして、
0:41:25	それを受けましては見やすさを整理した表の表がこれでございます。
0:41:31	ということですのですべての問題の話で整理しております。以上です。
0:41:35	はい、橘田です。何で今のお話だと、衛藤70ページとその手前の70ページから70ページにあるように、支持方法とあとプラス防護盤構造というのが書かれていてここんとこで補強についても説明する形になってるので、
0:41:49	断面レジンところも含めた上で代表性値がどれになるかっていうので、奴ら選ばれているっていうところに繋がってるでいいですかね。
0:41:57	三菱大高でございます。今日の藤でございます。
0:42:00	はい。規制庁田尻です。少し理解してきました。
0:42:05	なので、どうスタートからいくという。
0:42:10	ちょっとすいません資料もう1回見たいので他の方先にあればお願いします。
0:42:23	規制庁草場ですじゃちょっと、
0:42:32	先ほどから田尻が補足くうは補足で、添付、
0:42:39	同額かなり、それもさっき業績方針というふうになるんですけど、この資料だと76ページに一番入口として、
0:42:53	衝突に対して貫通させないともに、
0:42:56	とするとともに、
0:42:59	こういう感じがいいのかどうかあれですけど、脱落防止と、
0:43:03	いう言葉になってますと、で、それをもう少し具体的にというので、78ページにいくと、
0:43:15	固定する取付ボルトが2本以上と。
0:43:19	ということで急に、
0:43:22	個別、
0:43:23	具体的なものになっちゃうんですけど、

0:43:30	それと関連するのかわからないのかわかんないんですが、
0:43:33	b ポツの中のポツが並んでいて、
0:43:41	25 番目ですかね。
0:43:44	を置いた辺りにヶ所以上を設けるという指示部の設計と、
0:43:49	というのがあって、
0:43:52	回転しない云々っていう話もありましたけど、
0:43:56	そこは、
0:43:57	どういう関係になってその脱落しないとかっていう表現とどう整理をされてるのか教えていただけますか。
0:44:09	はい日本原燃のサカモリでございます。まず直接だ、波及的じゃないか すいません脱落防止する設計として、を聞いてくる必要最低限の要求事項 というのはいまず、
0:44:25	取付ボルトは2本以上はがんせすに残ることということになります。今 ちょっと古作さんの話を聞いてちょっとここの文章がまずいきなりなん ていうんすかね無意義というか、
0:44:37	壁が入ってないので、ちょっと非常に読み取りにくい文章になっている なというふうに考えてございます。支持部は、防護板あたり2ヶ所以上 設けるっていうこの記載はですね
0:44:51	ちょっと、
0:44:53	あれが指示箇所のスパンですね、1.7メートルとか1.3メートルといった 数字があったかと思えます。これを下回るような、防護板ですね要する に1.7メートルを下回っちゃうような防護インターであっても、
0:45:07	スパテルはロジックでありますけど、必ず指示箇所は5ヶ所設けると いったような意味合いでちょっとここの記載させていただいております。
0:45:20	それって何でっていうのを、
0:45:23	仲井てないから。
0:45:25	その繋がらないんですよ。先ほどの76ページですっけ。
0:45:29	のところから、
0:45:31	1ページ。
0:45:32	のところ、永久に個別具体になっちゃって、
0:45:36	その間を埋めて欲しいんですねその間の埋めるのが、添付書類での設計 方針の記載。
0:45:42	内容になるんじゃないかなと思ってお聞きしたんですけど。
0:45:53	それで、
0:45:56	まず、

0:45:58	大枠の方からいくと、
0:46:00	今の支持部の2ヶ所以上ってというのは、まずスパンを空けますっていうことが、
0:46:07	空けすぎないようにしますか。
0:46:09	ていうところろうがあったようですがそれはここでどこに書いてあります。
0:46:22	野田でございます。通す抽出につきましてはプレス78ページのポツの上から1232。
0:46:31	5、6番目のものとなります。以上です。
0:46:43	6番目は取付ボルト本数及び間隔って言うてるこの間隔は7時の間隔ですか。
0:46:52	大仲です。藤衛藤、坪井として記載してございました。
0:47:08	古作です。それはどう設定するかというのも、最作業荷重に対し、設定するだけだと。
0:47:17	どう設定するのかわかんないんですけど、どう、その考えは何ですか。
0:47:22	表面段階でございます。そちらにつきましては、80ページから82ページにかけてですね作用荷重に対する取り付けブロストの
0:47:34	まず、取付ボルト中にするという事で以降で静的荷重に対しての考え方で録音に対してボルトの年分ぐらいと基本はここは1としましてその間隔に対して、
0:47:47	どう設定していくかというところを記載してございます。以上です。
0:47:52	高速ですすいませんここに書いてますではなくて、その心を日本、日本語ってごめんなさい。
0:47:59	考え方として、
0:48:01	話をして欲しい。
0:48:03	ですけど、
0:48:05	日本原燃田仲でございます。もうすいません説明が足りませんでした。
0:48:09	えっと、1時間四分と感覚といたしましては、冒頭説明は少し、そして登坂に動かさせていただきましたが防護盤が変形する。
0:48:19	連携してもらう場合は土肥板井はマボルト引っ張るという引張に対する荷重の方。
0:48:25	引張によるボルトのせん断というものに対してと荷重を設定してますと、その時の冒頭のトン数の考え方と、
0:48:33	考え方というのはとは何か、ボルトの本数じゃなくて支持間隔に対する考え方と、
0:48:39	というのが、

0:48:40	6 ページの絵と 85 ページに示してあります通り、母岩とサービスするへと引 っ張り荷重、
0:48:48	に対して冒頭の付け本数からその支持間隔を計算して計算して決定し てございます。以上です。
0:48:59	古作です。今の話でいう
0:49:04	等、
0:49:05	支持部の設計として、
0:49:08	金。
0:49:10	20、
0:49:12	とボルトの設計、
0:49:15	そして、M24 八本っていうので支持部。
0:49:20	基本構成しますという、
0:49:23	コンセプトがあって、
0:49:25	それで抑えられるように、間隔を設けるっていうことですかね。
0:49:34	二村田中でございます。ご理解の通りでございます。
0:49:39	はい。コサクで、そうすると 8 本で押さえるというのは大本の設計方針 として書く。
0:49:49	のかというところになるんですけど。
0:49:53	何で八本かっていう、
0:49:56	それはですね 78 ページで言うと 4 ポツ目に書いてあるってことす ね。
0:50:05	うん担保でございます。はい、その通りでございますして、4 ポツ目に記 載してあります通り戸松中学校の針の継ぎ手の取付ボルトの配置って いうところ、そういうところを参考にして、
0:50:16	本という形で決めさしていただきました。以上です。
0:50:22	床の張り継ぎ手の取付ボルトの配置ってどうい
0:50:28	三菱重工高木でございます。
0:50:30	こちらですね、今主事学校のはりとして、400、400 のサイズは 1 が高 うございましてそこの接合部の接合の
0:50:39	アイテムですね、ポロポロのところの配置を参考にして、8 本というふ うに定めてございます。以上です。
0:50:51	離農、
0:50:54	接続をする時に 8 本でやっているの、
0:51:00	同じようにやりますよってことですかね。
0:51:05	三菱大竹でございます。この防護板を取りつける部材としてこういう針 のところに取りつけますので、同じようなボルトのつけ方をして、

0:51:16	やることで、中脳、
0:51:20	設計として、
0:51:22	ある程度、
0:51:24	公式によくよく使われてる、このピッチとかそういう配置を参考にし て、八本というところを決めてございます。
0:51:33	はい。補足ですそれでいうと、やはり1校の板厚だったり何なりって いうところから、標準的な
0:51:43	ボルト接合。
0:51:45	良い様式だってことですか。
0:51:50	三菱の高城でございます。そうですねいわゆる、
0:51:56	こういう
0:51:58	建築系のこういう、
0:52:00	有井うん。
0:52:03	また接合の標準的な配置っていうのは決まっておりますそれを参考 にしてるっていうことです。
0:52:10	はい、板野です。大体
0:52:13	は、
0:52:15	ということがわかるっていうとちょっと語弊があるかもしれないです けど、結局そのどっかに過剰な設計をする。
0:52:24	必要もないので、
0:52:29	何ですかね溶接部であれば防災と同等というような設計をするわけで、
0:52:38	加工の梁なり、
0:52:42	或いはその板厚だったりなんていう、強度に相当するような接続をし ていけばいいと。
0:52:51	いうことは理解をしました。で、それを踏まえ、先ほど、今も映してい ただいてますけど、言ったの。
0:53:01	ボール等周辺的设计としても、
0:53:06	ホール等よりも弱くならないようにということで、
0:53:11	同等以上の影響度を持たせると。
0:53:14	いう、寸法設計をし、
0:53:19	対応していると。
0:53:21	それを踏まえて計算するということでは理解をしました。
0:53:29	が、そうずっと、
0:53:34	そういった思想、4ポツ目の八本は一応基本というのを、
0:53:42	でも何らか、

0:53:44	ていただき、かつ、今私が申し上げた防護板の方の設計にまで話をしていたかと。
0:53:51	ということで下側に行つての白木協働つていうのに繋がるということかな。
0:53:57	思いました。
0:54:05	こういう接続部支持部ですか、支持部の基本思想のもと、
0:54:13	今、2、
0:54:14	2ヶ所以上設けるが先に来ちゃつてるんですけど、
0:54:20	間隔を設定して
0:54:29	この間、間隔は何かあれですか、下で距離や、
0:54:36	俺もとかあれですね
0:54:39	いたが、
0:54:41	板野共同。
0:54:47	の範囲内で、指示をするつていう設計だということですよ。
0:54:53	三菱合田でございますご認識の通りで板野降伏、全面広告ですねそれを想定した荷重に対して耐えられるようなポイント設計をするという思想でございます。以上です。はい。
0:55:03	補足ですと云いつつ、小さかったら、2ヶ所設けますよ。
0:55:09	ということになって、その2ヶ所つていうのは、何ていうんでしたっけ。
0:55:21	三菱大田でございます。
0:55:23	そうですね方針として2ヶ所以上というのを定めた次第です。
0:55:30	そうですね。本です。磯私が理解してるのは、結局前回お話しした
0:55:37	と。
0:55:38	1ヶ所だとその部分に飛来物が当たったり、
0:55:43	しちゃうわけ。
0:55:48	なので、2ヶ所設けておかないつていうことかなと思つたんですけど、違います。
0:55:58	三菱重工佐藤です。ごめんなさいおっしゃつていただいた通りです
0:56:03	まず考え方つていうのがいると思つていて、先ほどの当たつたところ周辺はすぐにぶち入れるつていう話があつて、1ヶ所だけでは、
0:56:14	飛来物が近くに当たつたらすぐにぶつかつて落ちてしまうつていうことから、まず、瞬間的に当たる果樹に対して、必ず複数箇所の止めが必要になります。
0:56:26	片やもう1個は先ほど回る荷重つていう、押し込んでつて板が曲がつた時の荷重つて話してつたそのものの設計の考え方。

0:56:36	それから、衝撃荷重をちょっと手計算では実際に負えないので静的荷重みたいな考え方で、どういった曲がっていったらどんだけの荷重がかかるっていうのを、全体で受け持てるように、
0:56:48	箇所数ボルト本数というのを設計します。ただ、一方、衝撃荷重ですんで、それに対してやっぱり近いところは、うち切れていって、それでも最終的に1ヶ所
0:57:01	2本以上、1ヶ所、2本以上のボルトが残ればいいという発想があって、そういった設計をしないといけないというのが多分最初の思想であって、それをクリアするための条件というのが複数のパターンがあるんだと、思っていて、
0:57:17	その前段の考え方が多分添付2入って、パターン分けしたその結果論みたいなのは補足みたいな形でも、整理としてはいいのかなとは思っております。以上です。
0:57:29	はい、古作です。そんなイメージで私もいますので、そのために添付で書くようなのっていうのは、個別具体よりももう少し、
0:57:41	この
0:57:42	背景にある考え方なんだろうなということでお話をしたということですよ。一応ここのポツの5ポツ目6ポツ目っていうのが今お話したような、
0:57:55	この大本のとしては、局所に火、飛来物が衝突すると。
0:58:03	いうことを踏まえてそれにおいても、どんな当たり方でも落ちないようにということなんだろうと。
0:58:09	思います。で、先ほど佐藤さんはいあわせて言っていた一番上の取付ボルト2本以上、
0:58:18	ということになるんですけど、
0:58:21	これ形式的に2本以上と言われましたけど、
0:58:25	そもそもV乗せM24でやるっていう設計のときに、一本でもう落ちないようにするって本当にそういう設計思想ですか。
0:58:43	三菱の武でございます。実情で言いますと飛来物の荷重が非常に大きいので、それに耐えるボルトに設計するということになりますと、かなり町中は十分耐えられる設計となったという、
0:58:56	こちらが先ほどちょっと
0:59:00	一概にはちょっと言えないのかなと思いますけど、そういう状況になってございます。以上です。
0:59:05	はい。補足です。
0:59:08	そうだろうと。

0:59:09	思います一概には言えないっていうか、
0:59:12	1本で持つようになっていう思想では、結果論としてそうだ。
0:59:17	結果論で何でそうなるかと、衝突荷重が相当強いからという。
0:59:22	ことで、ほぼ自明的にそうなるっていうことだとは思いますが。
0:59:27	そうだとすると、2本以上を判断せずっていうのはあまり上流には行 って、
0:59:37	脱落しないっていうことになぜ日本っていうということにしたんですた つけ。
0:59:47	峰多賀でございます。一本で自重をさせることは可能なんですけれど も、1本だけだとそこを軸として、板が回転してしまうから、回転しな いように、2本というふうに考えてございました。
1:00:01	以上です。コサクです。なんで改善しちゃ駄目なんでしょう。
1:00:09	日本原燃のサカモリでございます。ちょっと実際やってるかどうかわか んないんですけどもす来物がぶつかってきて、ボルトが1本状態になっ てですねその状態でITERが回転したら隙間ができて中に飛来物が、
1:00:22	侵入しちゃうっていうことがいえるかなという思想で、日本としてござ います。以上です。
1:00:29	アイ・エス・ビーの川里住谷サカモリさんそれだと、同じところにもう 1回飛来物が来るって言うことんなるから、それおかしくね辛いと すると、
1:00:38	ここに入っちゃうってこと。
1:00:41	自分。
1:00:41	所々ちょっと一旦、時にはすいません。はい。そこ、そういった議論だ と思うんですよね。
1:00:53	いろいろとこの辺りは議論をしていたところで一方で補助防護板とかを つけたり、いろいろ工夫をされているのか。
1:01:03	この辺りをどういうコンセプトでっていうのかなあということです。な ので、今議論していただいているところで、しゃべっても何か申しわけな いところではありますけど、
1:01:15	日本っていうのが大事なんじゃなくて今言われているところで言うと、 回転させないよというものが上流にあり、その上流としては、今検討 されている、
1:01:28	開口部ができてしまうことを防ぐということで、それって何っていうの を、
1:01:35	考えていただくということかなと思います。

1:01:43	三菱重工佐藤です。ご趣旨理解いたしましてちょっと再整理させていただきますちょっといろいろ皆さん考えても、人によって考えてることが違って、
1:01:54	その改定というのちょっと人的な飛来物が落ち込んでいて僕に入ってしまうみたいなものとかいろんな考え方の整理の中で、ちょっとあんまりなさそうなことも考えてみたいところもあったんで、
1:02:06	一応ちょっと再度、考え方整理します。多分すなんか本数は、
1:02:12	日本のあんまりこだわらなくてよくて、もうどう、どういうモードを防止するかっていう考え方の方変えた方がいいんじゃないかなというふうに考えてますんで、
1:02:21	はい。ちょっと整理させていただきます。以上です。
1:02:24	はい。コサクですその通りだと思ってます。これ実態2本しか残らないみたいな。
1:02:34	三菱重工サトウです不普通に考えるとですね8本セットの固定ブーから、もう最後の発表しか残らないっていう、自分今回の評価でもあるんですけど、
1:02:45	そこを以降になると逆に荷重が流れていってしまうんですね、それ以降っていうボルトに新たに大きな荷重が増えていくものってほとんど考えられないので、
1:02:55	それとこれ、2本しか残ってないんだらうって、あまり行くと考えにくいかなと思っております。古作です。私もそう思ってて支持部を話しているということに、
1:03:07	おいて、
1:03:09	比較的そのでしかも面で支えているということですから、それで十分設計でフォローできて話じゃないかな。
1:03:18	ていて、
1:03:19	これの局所の日本で云々っていう議論をする必要もないかなとは思ってます。
1:03:27	三菱重工佐藤です。おっしゃる通りです。ありがとうございます。
1:03:37	コサクです。田尻さんそろそろ。
1:03:39	何かありますか。社長ありがとうございます。いや今由良さんに今の日本のこれとかの話も聞こうと思ったところで今、頭クリアになりましたの。
1:03:47	大体直後から聞いていたんですけど1ヶ所だけえっと、91ページのところで確認しておきたいんですけど、多分こうにこういう解析がモデル化モデルですよって話をされていて、

1:03:58	ここで言われているのって
1:04:00	結局、実現し実際のあるものをそれぞれボルトも含めてしっかりモデル化していて、保守性という言葉が正しいのかわかんないですけど保守的に評価するっていうところの考え方として、
1:04:15	一応破断が早めに生じるようなモデルを想定してますよとで、破断が早く生じることでの悪影響っていうのも一応考慮したけどそこまで影響はないですよとかっていうのが一応ここに並んでる形になっていて、なんで、
1:04:27	この解析モデルで評価した時に要は
1:04:30	何か不確かな部分っていうのはそこまでないんですよってのがここで説明されてると思えば大丈夫ですかね。
1:04:37	三菱大谷でございます。ご認識の通りでございます。
1:04:41	はい。規制庁です。
1:04:44	そうですね。
1:04:46	設計、
1:04:49	はい自分は多分これ、ちょっと待ってくださいね。
1:04:55	大丈夫です。
1:04:56	土岐曾谷です自分一応この資料に関しては先ほど長官から聞いていただいた部分も含めて結局のところすみません、添付2に書いていただくっていうところが、一番やっぱかかったんで、
1:05:07	長南からも言っていたんですけど、補足としては、何となくネタが集まってそういうことかなというふうに思い始めたんですけど、結局これが添付上で何か書かれるのかっていうふうにイメージがくつつきづらいう形になってしまうところが多いような気がするんで、
1:05:22	先ほど検討されるということだったと思うんですけどその点よろしくお願いたします。この資料に関して規制庁から他に何かありましたらよろしくお願いたします。
1:05:31	コサクです。もう1点、これは細かい話、細かい話なんですけど、90ページ、D、その前のページからですかね。
1:05:41	評価対象とするものうのうへは書いておられるんですけど、これを具体的にどう評価するのかっていうところのモデルとかの話がないんですけどそのあたりってどう思ってるんですか。
1:06:04	日本原燃のサカモリでございます解析モデルは今現在計算書の方に、
1:06:11	差異はしてございまして、
1:06:14	ちょっと、少々お待ちください。
1:06:17	竜巻00の方ですね335ページ以降に、今回の解析モデル、

1:06:28	それから、お示ししてごさいますすいません 334 ページの方に、モデルにも聞いた物性値の方を今現在記載してごさいます。以上です。
1:06:44	古作です。
1:06:47	藤。
1:06:49	これで、
1:06:51	表現し切れてるのかっていうのがわからないですけど、
1:06:58	先ほどから話題にしてた支持部知事南部戸田瀬下
1:07:07	一部ですね、せいぜいブーの情報とかも、
1:07:12	明示的にはなっていないし、
1:07:17	十分と、そこの部分どういうその境界条件入れてるのかっていうこともわからないような気がするんですけど。
1:07:25	耐震でそのモデルルーの示し方っていうのを議論してたと思うんですけど、そこら辺をフォローしてますか。
1:07:31	日本原燃のサカモリでごさいますすいません
1:07:34	ちょっとご説明させていただいたんですけどもちょっとそういった支持部の評価に関する情報、今現在ですね外を竜巻 00 全般として全然ちょっと入れ込めてないので、ちょっとそういうところを入れ込んでいきたいとは考えております以上です。
1:07:49	コサクです。すいません。最初言われたんですね。そこら辺対応して、
1:07:55	それによって先ほどまで話したような方針、
1:08:00	が、具体的にこうなってるんだなってそれでこういう評価をするとうような程度で確保できてるんだなというのが繋がると思いますのでよろしく。
1:08:09	以上です。
1:08:13	はい、規制庁帯磁率ほかに規制庁わかんないんであれば、
1:08:17	このタイミングでちょっと、三菱のガーターのスケジュールもあると思うんで今後のスケジュールと、一応振り返りと今後のスケジュールについて原燃側からお願いします。
1:08:46	日本原燃のサカモリでごさいます。まず振り返りでごさいますけれどもまず一番大きいところとしてやっぱりテンプレに何を書くのかというのをちょっと意識して、
1:08:59	全体構成を見直す必要があるといったようなお話があったかと思ひますこれはす、前回のヒアリングでも同様の指摘をもらっていけと認識してましてちょっと今回手が
1:09:10	回らなくて申し訳なかったと考えております。あとサトウ竜巻 16 で言ひますと、全体文書の整合がとれてないというお話もあったかと思ひま

	す文書で説明があるんだけど表になると載ってないとかですね表にはあるけど文書には載ってないみたいなそう。
1:09:29	こういった点をきちんと盛り込む必要が盛り込むか修正する必要があるかと思っております阿藤解析に関するお話ですね。
1:09:41	解析条件があるかと思えますけどもボルトの形が解析にどのような影響を与えるのかといったそういった条件も書いてないということでございますので、
1:09:51	そういうところを今後、盛り込んでいきたいと思っております。あとは、設計方針ですね4、
1:10:02	設計方針として何を書いて何を補足に書くってこれ一番最初のご指摘に繋がるかと思えますけれども、そういうところもちょっと考慮して資料の方を修正していきたいと考えております。
1:10:15	以上です。
1:10:17	はい。日本語のエビナです。スケジュール、今後のスケジュールなんですけども、等ですね、月曜。
1:10:35	すいません。来週の月曜日になりますが20はちいの断面でですね、前文に何かくかっているのも反映したものとあと16ということで、提出させていただきます
1:10:50	日のうちにですねできればちょっとヒアリングをさせていただければというふうに考えてございます。以上です。
1:11:02	一応2人です。
1:11:03	一応、認識として何か不明点はないということでよろしいですかね28日蓋開けたら、何か何だっけこれみたいな感じも出てこないのであれば、
1:11:13	28午前中提出だったらその日でも見れるとは思っているんですけど
1:11:19	認識二つとりあえず認識が合ってるかっていうのと、28日って、どの時点で出てくんでしたっけっていうところをお聞きしたいんですけど。
1:11:29	日本原燃の蝦名です。要は人シキイのですねそう言わないというふうに考えてございます。その上でなんですけども、資料は午前中のうちですねちょっと早いうちに出せるようにしたいというふうに考えてございます。以上です。
1:11:47	はい。新城館です。なので次回はどちらか添付に何かがあると補足もある程度充実させていただくことになると思っているんですけど添付部分で何かかという話なのでどう書くかとかの具体のところも確認はしたいと思ってるので、

1:12:01	午前中できるだけ早めに出していただいて、その上で、ヒアリングということでできればと思うんでよろしく願いいたします。
1:12:08	と聞いたからこの市街地でなければ、次、00は、竜巻でよかったでしたっけ。
1:12:18	はい日本原燃のサカモリでございます曾田都築00をベースにお話しさせていただけたらなと思っております。
1:12:26	規制庁館です。磯竜巻00なんですけど、00資料と、何か修正の方針みたいな形のものも何か言ったような気がするんですけど、どの資料についてやるんでしたっけ。
1:12:44	日本原燃のサカモリでございます基本は22日に提出させていただいた相当竜巻00でございます、本日ちょっとアップ、ヒアリング直前にお出しさせていただいた、
1:12:57	資料はですね提出後引き続き社内で精度を高めていたものをちょっとお出しさせていただいたものとなっております。というのもですねちょっとお出しさせていただいた後に申し上げますが非常にちょっと益がいろいろとよくない点がございまして資料の構成がちょっと、
1:13:14	よろしくなかったりですね表番号や物番号読み込み文書の修正といったそういったものがちょっと全然対応が間に合わなかったのも、そういうところをちょっと直してたものを、先ほど提示させていただいたということになります。
1:13:29	慶長館です。よくは理解しました、そのように説明される際なんですけどこれも、
1:13:36	要は、生業日とか強度が出てきたところがあるのでどういう考え方で直そうとしてるのかっていうところを中心にまず行っていただきたい、多分共同計算仕様のところは本当計算結果とかそういったものだけ乗けるために
1:13:50	計算の方針の方にいろいろ移しましたっていうところがあるんだと思うんですけど、それ以外の場所を動かしてるところがあったような気がしますし資料だけ見ると補足に動かすんですけどっていうふう書いてるところが
1:14:00	あたりもしてですね要は添付のこういうところにはこういったこういったものはこういうところに動く添付のここに動かします。こういったものは保存に落とそうと思ってるんですけどっていう考え方をまず行っていただいて、

1:14:11	具体的に言うとかこういうものなんですっていうふうに言っていただいたら何か会話しやすいかなと思うんで説明、そういった形でよろしく願いします。
1:14:20	はい。日本原燃のサカモリでございます。では竜巻 00 の方にちょっと入らせていただきたいと思います。まず、修正にあたって意識したことでございますけれども、
1:14:35	真木というそうですね事象に関する記載要するにそ、
1:14:40	というどういうものを言いますかといった条件設定に当たりそう当たるもの、これをですね資料でいうところの別紙 4-1 の方にまず集約するようにしてございます。
1:14:51	次に、4 別紙 4-3 の方がですねタイトルがの設計方針とあるように、施設の設計に関するものを別紙 4-3、こちらの方に
1:15:04	集めるようにしてございます。最後に方、兵庫県さんの方針ですねこちらに、実際モリノ計算をするにあたって
1:15:14	的な考え方、共用限界の話であったりすいません評価式どういうものを使うんだといったそういったものをまず方針の方に集めるようにしてございます。
1:15:26	最後に計算書ですねこちらが、その報酬を使って、どういう計算を、すいません計算をするように必要なパラメータ、あと、解析モデル、最後にそれを使ったタイプと計算結果ですねそれが出るようにちょっと意識をして、
1:15:43	直したんですけれどもすいませんちょっと実際二つ目、00 の方はですね計算書はちょっと最初の読み込みが入っていたりして、ちょっとすみませんできが悪いと思ってます今現在考えている中では、
1:15:57	ペーパーですね。
1:16:00	ええ。
1:16:04	すいません冷却塔の強度計算でいうと 279、1 冷却塔の計算、評価方法っていうのがあってですね更新所から読み込むような記載をしてるんですけれども、
1:16:17	一方で、方針書の方を見るとですね、共同計算の方針章
1:16:26	例えば 211 ページ、412 ページの方ですかね、
1:16:33	ギャップ等の例えば、ポツ、機器本体、両括弧観測フレーム及びファンディングってあるかと思うんですけれども、
1:16:41	他機器を評価するにあたってはこういう評価式を使いますよというのがすでに更新書に書かれておりますので、計算書でこういった呼び込みをする必要は今ないのかなと考えておまして、

1:16:52	こういった経産省の計算式の呼び込みですねこういったものは、削除しようかなあというふうに考えております。また、具体的に経産省、
1:17:04	今回ちょっといろんなところに散らばっせんですけども、それをどこに違わせたっていうのが、408 ページ以降、ちょっと参考という形でちょっとつけさせていただいてるんですけども。
1:17:17	今の計算書を作るにあたり記載を削除した文章がどこに移動したかというのをこの 408 ページ以降にお示しさせていただいております。
1:17:28	こちらですねすいませんちょっと
1:17:31	アプリが間に合わず申し訳なかったんですけども、
1:17:34	音で申し訳ございません衛藤。
1:17:36	553 ページ。
1:17:41	資料を見ていただくとパフェなマークはついているかと思います。
1:17:45	こちらすみません修正が間に合わず、申し訳ございません、こちらは今は計算書がちょっとないんですけども、本来この設備に関する記載となりますので、
1:17:56	評価モデルのお話は計算書に起こす必要があるかなというふうに今現在考えております。すいませんちょっと簡単にはなりますが、以上となります。
1:18:15	規制庁加地です。今のはてなとかのやつは、別途出されたやつで終わってるわけでもなくてまだはてな中でいいんですけど。
1:18:23	日本原燃のサカモリです今も査定等まんまでございます。申し訳ございません。
1:18:30	はい、規制庁た時です。
1:18:34	どうどう進めていくかってとこなんですけど今多分 2 回ほどには多分資料つけていただいている、どこに動かした方がある程度後ろの資料のやつで書かれてると思うんでそっちベースでっていう。
1:18:45	ないと思ってるんですけど。
1:18:46	多分今お話いただいたところで、しゃべれなかったところも含めてですけど、荷重の考え方とかそういうやつに関しては本当、最初の基本方針のところに移しながら、
1:18:56	共同計算書のところで、計算の考え方とかそういうところを述べられているやつは基本的に全部共同計算の方針に移して、一部共同計算書のあるところにある考え方みたいな形で残っちゃってるところはあるけれど、
1:19:09	そこの部分も含めて、基本的に全部経産省の考え方の方、計算の法人化計算の本旨のほうに移した上で、計算書本当結果だけを書くような方向で今修正していると思えばよかったですかね。

1:19:21	日本原燃の坂部でございます。その田尻さんのご認識の通りでございます。以上です。
1:19:29	はい。清町谷井です。
1:19:31	今
1:19:32	ちょっとその部分を後で見てもらって、
1:19:34	けどその他の部分
1:19:37	があるかと。
1:19:44	日本原燃のサカモリでございます。補足に飛ばしてるものとしましては、
1:19:52	言えば、4着、
1:19:56	432 ページに重圧面積の、こういうふうにとりましたよっていう図があるんですけども、
1:20:04	今現在補足の外竜巻 08 にございますのでそちらに預けて、計算書の方には面積 A というところに、
1:20:14	を示す形で、
1:20:16	いこうかなと思っております。
1:20:19	すいませんちょっとまだ記載が、やってなかったそうです。申し訳ございませんただ結果としてそういう重圧面積というパラメーターとして数値をお示しするというを今現在考えてございます。以上です。
1:20:32	ちょっと次です。すいません。今の説明っていうのはこういう図面に関しては、竜巻の図面で何しろどっかに別に図面がもはや添付として見る形になってるから竜巻として改めてつけないって話をしてるのか。
1:20:46	それとも図自体がもはや必要ないので補足にしますというふうな花 C I O は添付レベルだと、図は必要ないんで、補足で落としますって言われたのかというどっち側でしたかね。
1:21:05	日本原燃の中江でございませぬ。もう一度お願いできますか。
1:21:10	瀬戸鳥居です。江藤なんで、添付レベルにおいて似たような図をどっかで確認できるという話で、要は竜巻の添付ではなくて、ここは別に構造図でも何でもいいんですけどそういう図面のところで見えるので、ここにある。
1:21:24	あえてもう 1 回つけなくて、要はその分からもはや推測できる形になっていて、要は図油圧面積の考え方に関しては全面っていうふうにもう大きな方針を謳う形になっていて、
1:21:34	添付のベッドついてる図面と合わせれば、もはや値だけ書けば推察できるような形になってるから添付ではつけないでっていう話をされたのか。

1:21:42	他んところの構造図でもうこのパラメータに係るものってのは確認できないけど、添付レベルでそういった図面は必要なくてもう補足だけにしますっていう説明をされたのかというのとどっちですか要は添付の別で見れるから削除するっていう話をしてるのか。
1:21:57	そもそも添付に入れませんか話をしてるのかどっちですかって話です。
1:22:02	日本原燃のサカモリでございます確か考え方のようなものは今のその例えば 90 ページですね、例えば今 10 月面積でいうとですね 90 ページのところに、
1:22:17	画面が、
1:22:19	行革、の 3、駄目ですかね。これで設備ごとにちゃんと考えますよというような意思表示はさせていただいておりますただ、
1:22:30	成績が実際その図面にて算出できるレベルかという、中身は難しいものもあると思っております。
1:22:40	具体的には谷内そっぽ
1:22:42	で竜巻防護対策設備の重圧面積がかなり事細かに、
1:22:48	普通は一本レベルでやっておりますので、今ある情報では、ちょっと答えにはたどり着けないというふうに思っております。
1:22:58	以上です。
1:23:01	規制庁、佐治です。今回メインでやられようとしているのは記載場所の清梨衣が第 1 回時点だと、メインでやられようとしているのかなと特に、
1:23:11	外部事象系に関して言うと、そこまで何か大きく累計っていう形になるようなものでもない、記載値としてただ普通に考える経産省のところで計算の方針を立てるのも変だからっていうので被災地を変えるところがメインで今回やって来られるのかなと思っていたんですけど、
1:23:26	そこと合わせて、要はどこが捕捉レベルかっていうのを改めて全体を見直し始めてると思えばいいんですけど。要は、今まで載っていた今まで添付に抜けてた考え方があったはずなんですけど、
1:23:38	そこは今回見直しましたっていう説明ですかね。
1:23:44	日本原燃のサカモリが何か田尻さんのおっしゃるようにちょっとそういうところに今着手していますはい。考え方が
1:23:54	す。その結論は計算書であってあとその結論がどこで読めるってというのが補足に、
1:24:01	そう言う流れでちょっと資料構成見直していたのが現状でございます。以上です。
1:24:08	衛藤タジリです。時間がいっぱいあったら別にとめもしないんですけど、このタイミングでそれやり始めて、いつおあれそうですか。

1:24:26	規制庁田尻です。要は、補足に落とすっていうんだったら、1ヶ所1ヶ所全部その説明を教えてくださいゅうところをやっていきたくはなるんですけど。いや明らかに要らないもんですとかって説明つくものってそれは別にやりゃいいとは思うんですけど。
1:24:40	何か要は今まで添付とかで1回、ある程度形固まりそうになってたやつを、ただ類型を踏まえたコアの構成の整理が必要だよねってところをメインでまず今やられようとしてると思っていたので、
1:24:51	そこには新たに別途削れるものは全部補足に落とすんです最終的には、いろんなも補足で落とせるという考え方もあるとは思ってるんですけど、現時点でやって、どこまで原燃のスケジュールでいけそうなのかなってというのが少し気になったので、
1:25:06	どこまで、いつまでにやろうとしてます。
1:25:16	日本原燃のサカモリでございます少々お待ちください。
1:25:59	日本原燃の坂部でございますお待たせいたしました
1:26:03	結論としてモード性と、
1:26:04	ます、臨床です。
1:26:08	規制庁田尻です。
1:26:11	先ほど言ったように最初からそういう形で整理しながらやってきてっていうのであれば今までもう個人的になった可能性もあるんですけど、今、多少過剰でもをつけるものをしっかりつけてきましたっていう流れの中で、
1:26:23	前例がすべて理解してやっていただければできるのかもしれないですけど、要は落としちゃいけないものまで落とされたってものをこっからやって食うのも厳しい気がするので、
1:26:33	ちょっと広めに付けますよってというのが、今回なり得るということで一応状況としては理解いたしました。
1:26:39	コサクです。
1:26:42	戻すという話をしている中で申し訳ないんですけど、
1:26:46	計算書の最初って273ページからでいいですか。
1:26:58	計算書っていうか計算結果というか、
1:27:03	日本原燃田仲でございます。はい。その通りです。
1:27:07	古作です。そうするとですねまず目次。これでいいのっていう。
1:27:13	のを、
1:27:15	なんですけど、概要とかっているんですか。

1:27:25	日本原燃田仲でございます。何を評価しているのかっていうのは最低限必要かなというふうに思います。評価して、思っていたので、概要というところは、残しておりました。以上です。
1:27:44	古作です
1:27:45	耐震でも同じように書いてある。
1:27:55	表面タナカでございます。耐震の今の冷却塔のそちらの方も確認しながら作って、作業しております、私の方にも一応書いてあるということは確認した上で一応記載は行っております。以上です。
1:28:11	はい。そしてその次の構造概要はどうですか。
1:28:20	日本のタナカでございますけど構造概要につきましても、
1:28:26	どういったものを評価しているという情報は必要だなあと思って記載をして図をつけております。こちらについても一応耐震の冷却塔についてはついているということも見た上でのと、
1:28:40	考えでした。以上です。
1:28:44	補足です。耐震はその構造設計
1:28:47	構造計画っていうのがあってそれを具体的にしたものっていうことじゃないんですか。
1:28:53	ちょっと見比べてないですけど。
1:28:55	規制庁カミデです。耐震はもう、構造概要のところをシンプルに図面だけついて、
1:29:05	コサクですけど、
1:29:08	何だろう。
1:29:09	特にこの竜巻だと、この前の評価方針の方でそもそも、この図とかも出てきてるような気が。
1:29:19	しててこれわからないと。
1:29:21	計算方法も何も説明できないっていうことだったと思ってて何で2度出すのっていう感じがするんですけど。
1:29:29	耐震の方はもうちょっと一般論で、
1:29:32	更新が若いであり、
1:29:35	構造設計
1:29:37	構造計画っていうことで一般論を納めているので、ここで具体を示さないっていうことだと思うんですけど。
1:29:48	エレベーターなんかでございます。ちょっとそこまで考えは至っておりませんでした。確かに通す。
1:29:59	共同計算の方針で図は示していてそのモデルまで、考え方までは示して、

1:30:07	いました。ただ、一方でC学校のC D F F Mのモデルについては、そちらには収録しないで
1:30:16	こっこの個別の計算書に記載しているんで、残すとしたらAとC学校の全体の座部になるのかなと今考えておるところでした。以上です。
1:30:28	古作です。そうですね。それはモデルルーとして示すってということかなと思う。
1:30:35	ここん
1:30:36	概要図ってということじゃないですよ。
1:30:44	おはようございます。衛藤モデルCです、元の形があって、このモデルになったのねっていうのが何かいるのかなと思ったところだったんですけど。
1:30:55	コサクですそれで言うともそもそも能添付図面で構造図ないんですか。
1:31:03	日本のタナカですあります。
1:31:07	それで十分じゃないかって思う。
1:31:11	インフルタナカでございます。
1:31:13	なるほど、わかりました。
1:31:15	はい、ありがとうございます。
1:31:19	コサクです。で、そういうのが
1:31:22	昨日でしたかね、共通。
1:31:26	午前中でしたか、共通 08 とかで、白丸だ黒丸だと言って、
1:31:32	白丸では足りないから黒丸でって言っている。
1:31:36	ところの議論じゃないかなと思ってて白丸にあるのに、
1:31:41	クロマルも必要ですって言う必要はないですよ。
1:31:44	ということかと思えます。
1:31:47	ていうのでちょっと削減の方向でその次
1:31:54	279 ページー280 ページも、なんか呼び込みだけ延々と書いてあるんですけど、これって入れます。
1:32:02	でもあれば都丸式を用いてとかで、少し選択があるってことですか。日本原燃のサカモリでございます。こちら施工等補足でなくても、申し訳なかったんですけど冒頭にですね
1:32:13	新書の方ですすでにどの機器のどのパーツに対してどの式を使うというのがあるようになっているので、279 ページ 280 ページは削除する方向で今、
1:32:24	至急を修正しようと考えております。以上です。
1:32:28	コサクです。つけませんわかりました。
1:32:30	そうすると、そのあとはデータシート、つまり

1:32:35	モデル図なりということなので淡々と入っていればよくて結果の表がついて、
1:32:42	ということなので大体イメージがつかえました。
1:32:46	で、
1:32:48	同じことは言わなくてですね。
1:32:51	思うんで、先ほどの、
1:33:03	藤話でいうと、
1:33:13	何ページでしたっけ 500 何ページとかですね。
1:33:24	これ、
1:33:25	日本語のタナカです。面積の話のところだったでしょうか。はい。
1:33:31	米田仲です。430 ページでございます。
1:33:43	古作です。で、430 ペイジーだと、これも
1:33:50	計算。
1:33:52	方法の方で、この図がついてて、
1:33:55	寸寸法 B 寸法って書いてあるんだったら、
1:34:00	これは補足説明資料に持ってきますではなくて、
1:34:03	方針書に書いてありますで、なのでここではデータシートとして表で示しますっていう説明になるんだと思うんですけど、違います。
1:34:19	日本の段階でございます。今現状の状態ですと寸法までは、と書いて、
1:34:27	いない状態ですので、図のほうに寸法を入れて、
1:34:35	そうですね。
1:34:37	この重圧させますみたいな表現を、
1:34:40	したらいいのかなあと思っているところです。
1:34:48	別の場所だったかもしれないですけど、
1:34:52	この図、
1:34:53	これらの図を書いて寸法 B 寸法って書いてるズーちらっと、その前の方で見ましたけど、なぜここはそういう対応しないんですか。
1:35:12	少々お待ちください。
1:35:21	日本原燃のサカモリでございます。今古作さんがおっしゃったように多分 208 ページ、これ方針書の方になりますけれども、
1:35:32	こちらの方では例えば
1:35:35	頑張っって欲しい。感想フリーフレームの評価モデルの中で A とか B とかそういうのが書いてあって、この A とか B、計算書で数値を書けば、
1:35:46	いいんじゃないかといったご指摘かと思っておりますが、
1:35:51	ますでしょうか。

1:35:53	古作です。そうですね。ここの部分はそういう対応をとったのに何で今の、
1:35:58	面積のところはやらないんだっていう、
1:36:02	日本原燃のサカモリでございます
1:36:06	一番今悩んでいるのがですね
1:36:11	515 ページちょっとご覧いただきたいと思うんですけども、
1:36:19	竜巻防護ネットの重圧面積はですねEとかBとかって、単純に表すのが難しくてですね部材単位で面積を出しているの、
1:36:30	なかなか方慎重で一般論化して書くのが難しいなというふうに今ちょっと考えておりました。
1:36:37	衛藤。
1:36:39	以上ですいません。
1:36:44	どういことですか。
1:36:52	日本原燃のサカモリでございます。
1:36:54	ですね例えばこのページ 514 ページのように被覆面積をとっていいと出しているのではなくてですね、
1:37:04	支持学校の柱まり
1:37:07	です。一本の面積をこちら出して、風荷重の自発面積を算出しているので、そういった実際の技術先方ちょっと方針書の方でうまく表すのがちょっと思い浮かばなくて、悩んでいたということでございます。
1:37:25	以上です。コサクですそれでいったらこの図だってわかんないです。
1:37:37	家田サカモリございますおっしゃる通りですね数値はわからないんですけども、
1:37:43	コサクであれば、
1:37:49	計算書として示すのは、
1:37:53	考慮した面積っていうことにおいてその面積の算出根拠っていうのは補足説明いたします。
1:38:00	ていうこと。
1:38:02	ならわかるかなと。
1:38:04	思うんです。で、
1:38:07	少なくともその前のページまでに書いてあるような寸法は構造図に書いてある。
1:38:12	それで、最低限先ほど田尻が言ったように別の場所で書いてあるってことですよと。
1:38:19	いうことで、

1:38:21	515 ページみたいなどころろは構造図でどこまで読めるのかちょっとよくわかりませんが、
1:38:27	少なくともその面積を求める際の考え方みたいなのを方針書には書いておいて、
1:38:37	保守的に、その抜ける部分はあるんだけど全面ととらえますという場合と、
1:38:45	厳密に少しカウントしますっていうようなことの場合のカウントの仕方みたいのを書いておけば、
1:38:52	いいんじゃないかなと思いますがいかがですか。
1:39:00	日本原燃のサカモリでございます。今コサクさんがおっしゃっていた、ちょっと考え方っていうのはちょっと今載ってないような、載ってないんですけども、今の立て付けは、
1:39:11	コサク様の計算書ですね計算書の方はコサクさんの言っていたいただいた構成にも現状なっているかなというふうに考えております。ですのでちょっと面積を求める考え方を更新書に書けば、
1:39:23	イメージがあるのかなと思っております。以上です。
1:39:29	はい。
1:39:31	わざわざ図面をつけなくても構造図で大体わかるかなと思って、
1:39:39	今の、
1:39:40	話の部分もおそらくあれですよ 513 ページ。
1:39:44	方針書に移す方ですけど、
1:39:48	充実率とか、そこら辺の話。
1:39:53	で考えればいいんですか。
1:39:59	2 本目のタナカでございますそうですね等防護ネットについてはまず開いているので、穴がある、あるような構造ですのでネットの充実、充実率を、をずっとかけて、ネットの A R M のサイズにネットの充実率を掛けることでネットの重圧面積というものを算出しているというところでございます。以上です。
1:40:19	はい。補足です。そういうのって、それもあれですよ 経産省の表に載ってると。
1:40:33	あと、村野田仲でございますけど、
1:40:36	今表、表を持っているというのは、充実率がいうところでしたでしょうか。
1:40:42	はい。
1:40:50	日本原燃のサカモリでございます 322 ページの方にですねネットの諸元を、防護ネットの計算書になりますけど記載してございまして、

1:41:00	第4ポツ2-1表の一番最後、下のところに書いてございますのでその辺は認識が合っているのかなと考えてございます以上です。
1:41:11	コサクです。これはですか。このページ、
1:41:14	これもあれでしたっけもう計算結果側になってんでしょ。
1:41:19	日本原燃のサカモリでございますその通りでございます。今後ネットの計算書の方です。
1:41:24	はい、わかりました。じゃあ載っているということで理解しました。
1:41:29	そういうところで整理をする等、
1:41:33	あまり、
1:41:35	意識のずれはなく整理はしていけるんじゃないかなと思いましたが、
1:41:41	田尻さん、いかがですか。
1:41:44	規制庁谷です。いや、だから心配したらいいんだなっていうのが前面に出ただけなので、原燃として
1:41:50	最も遠い、最初お聞きしたときも、添付の他で読めるのか添付からも削除するのかっていうところを最初に聞いたつもりで、添付図がどっかで読めるっていうんだったら別に止めもしなくて、他に同じような図面があって、そっちの方に要は寸法とか少し、
1:42:05	追記すればそれで十分な同じ図面になるんですね別にそれで構わない話なんですけど、そこまでちゃんと考えているのが最初の方の回答でよくわかんなかっただけなので原燃がちゃんと対応されるっていうんであれば長さんご指摘の通り大丈夫だと思ってます。
1:42:24	不足です。それで言うと今回は、ここの部分をこっちに持ってきますとかこっちに書いてありますとかっていうので書いていただいたので、あまり
1:42:35	混乱なくというか、こういう議論ができたっていうことなんですけど。
1:42:39	次示す場合ってどういうふうに示される予定ですか。
1:43:06	日本原燃のサカモリでございます。本日の議論も含めてですね計算書ちょっとまだ粗いので、ちょっと見直して再度この資料ですね
1:43:17	406ページ以降に参考としておつけさせていただいてる資料を、先ほどすいません、館野八鍬残ってるみたいなお話をさせていただきましたが綺麗にして、一度お出しさせていただくことになるのかなと考えております。以上です。
1:43:34	古作です。それで言う等、次回もうこんな形でこっちに持ってってますよっていう形かー。
1:43:43	途中経過みたいな書類を出されるっていうことかなと思いましたがその上で、

1:43:52	それを踏まえて種整理したものはっていうのを、
1:43:57	を一緒に出されるってことですかね。
1:44:01	日本原燃のサカモリでございます。コサクさんがおっしゃった通りですねもう一度作り直してパッケージを出させていただく必要があるかなと思っております。以上です。
1:44:13	はい、蘇武です。一応、
1:44:18	今回の資料のパターンのもとの、それを踏まえた完成形っていうのは両方
1:44:24	出てR i c k e r波いう。
1:44:26	しました。江藤、ちょっとどこのページだったかわかんなくなっちゃったんですけど、
1:44:31	モデルルーモデルじゃないや、L S - D Y N A使うみたいなところろろろについて、
1:44:39	先ほどの、
1:44:41	宛名マークのところって言ってたところかもしれないですけど、何ページだか、
1:44:46	200、すいません、日本原燃の坂部でございます 553 ページでございます。以上です。
1:44:56	コサクですありがとうございます。で、これわあ評価方法っていう意味では当然藤岡方針側であって、
1:45:05	でもルーをこういうふう構築しますっていうのも方針。
1:45:10	モデルの設定についてとかっていう感じですけど。
1:45:13	であってそこでL S - D Y N A使いますということもあり、なので概要はっていうとバスもそっちにあって、
1:45:24	計算結果の方ではそれを踏まえてモデルをこうしますという、最後の行と図面っていうことになると、
1:45:32	思っているんですけど、私もそうしてるんじゃないかなと思いますが認識合ってます。
1:45:39	日本原燃のサカモリでございますちょっと耐震の方をちょっと再度確認したいとは思っておりますが、現在 553 ページでいうと、L S - D Y N A の
1:45:51	R7 ポツ 1 ポツ 2 といったようなバージョン指定までここに書いておりました、バージョンはちょっと設備ごとに異なったりする上で、この設備この記載として計算書が要るのかなというふうにはちょっと今考えておりました。

1:46:07	以上です。コサクですわかりました。使い分けがあるということでしたら、方針書にそういう旨が書いてあって、
1:46:14	ですね。
1:46:16	植野元のサカモリでございますおっしゃる通り解析の大方針は方針書に記載されるべきだと考えております以上です。
1:46:25	はい。補足です。そういう趣旨で静精査をして書いていくんだというので
1:46:32	次の
1:46:33	554 ページの材料モデルとかも含めて、整理をしていくというこ等で理解をしましたので、次回提示いただければと思います。以上です。
1:46:51	はい。規制庁の館です。大枠の方針を言われて、今後の作業方針と示される資料っちゅうのは理解してなんですけど。
1:47:01	基本的に何か、全く新しい記載をどっかに書くっていうものではないので言ってどこに入るかっちゅう話等で、要は同じような図面というのをどれだけ省略してる嘉門文言ですかねってところの話だとは思っているので、
1:47:15	今回多分もともとの別紙 1 から 6 までの構成の後に参考という形でもう 1 回別紙 4 をつけてっていう形でやられてきたと思うんで同じような構成でもう 1 回出していただくということでそれを見たいとは思ってるんですけど。
1:47:26	スケジュールすいません早くもスケジュール話聞いて恐縮ですがスケジュールってどれぐらいでやろうとしてます。
1:47:31	か。
1:47:36	はい。日本原燃の蝦名です。
1:47:38	先ほどですね、お話をさせていただいた 16 と同じように、28 のですね午前中には提出したいというふうに考えてございます。
1:47:49	以上です。
1:47:53	今日の旅です。
1:47:55	1 回位、28 に出てくるものは元出したあの一色終わったものが出てくると思っていいですかねさっきの補足資料の類と違って、こいつ一応添付でどこに何を書くかって話なので、
1:48:08	さっき言った要は切ったり張った李だけではなくて一部要は重なってる部分を消しますよってやつが、本当に消していい部分かも含めて今度はしっかり見た上でっていう形になるかなというふうには思っているんですけど。

1:48:21	28日時点のやつはこれも朝出てくるのかわかんないですけどその時点においては原燃としてそこらの生産を全部終わったやつが出てくると思っていていいですかね。
1:48:33	はい。日本原燃の蝦名です。
1:48:37	終わらせたものということで28の午前中に提出させていただきたいと思います。以上です。
1:48:47	田尻です。その際には、こちらから出来っケースって言うてるけど何でって言ったらいやここにこの図面があってそこんとこで十分わかるパラメータをこの表にあってっていうのを問われたらすぐに答えれるぐらいの準備をしておいていただいて、
1:49:01	要はその場で確認とか持ち帰りとかになると、それこそスケジュールが厳しくなるような気がするので、その点を踏まえた上で対応いただければと思います。
1:49:10	そういった意味でいうとこの資料を1個1個今日詰めようとも思っていないので、大体の方針としては、自分は理解はして理解するか今後確認することで理解をしたんですけど、規制庁側から他に何か今日時点で確認しておきたいことがあればお願いします。
1:49:34	規制庁谷です。他になければ原電側から振り返りとスケジュール大体もう言ってもらったと思うんですけど、ちなみにこの後加賀も一応資料として出てきてるんですけど、理屈は同じですかね。
1:49:48	日本原燃のサカモリでございませ風間もちょっと同じ観点で資料を修正してございませるので竜巻と等が合うように今後また直していきたいと思っております以上です。
1:50:00	はい。帖佐です。個別に何か火山特異で悩んだところとかっていうのはないと思って資料はざっと見たけど同じような形で書かれてるのかなっていうぐらいしか見ていない状況なんですけど。すいません今日出てきたばかりで切れてないってのが実態なんですけど何か説明しておきたいこととかありますか。
1:50:19	日本原燃のサカモリでございませ技火山特有でご説明したいことは今のところないと思っております以上です。
1:50:27	はい。規制庁館です。次回のタイミングでは竜巻だけでなく火山も、1個1個確認しなきゃいけないと思うのでよろしく願いいたします。
1:50:35	下は規制庁わからなければ現場から一応作業。
1:50:39	一応念のためにもう1回、作業方針振り返りとスケジュールというだけ。

1:50:44	スケジュールは月曜日の朝出しますよと言うから変えなかったら、同じですと言っていただければそれで構わないのでよろしくお願いします。
1:50:55	日本原燃のサカモリでございます。類型化の方針竜巻も大きく、そんなにずれがないのかなと思っておりますので、資料の完成度を高めて、
1:51:07	ということになるかと思っておりますが今日、
1:51:10	ですねコサクさんからご指摘ございましたように計算書の図面類は亢進症の方と熟してるものが多数ございますのでそういうものは削除すると、そういった点をしていきたいというふうに考えてございます。以上です。
1:51:29	はい。規制庁、
1:51:30	李です。もう早い作業をしっかりとさせていただきますのでよろしくお願いします。
1:51:36	提供側で願ったヒアリング通して、ほかに何かありますか。
1:51:46	規制庁帯磁率ほかになさそうであれば本日のヒアリングこれで終了したいと思います。藤本町が09の停止をお願いいたします